

官報

號外

大正二年三月十九日

水曜日

印刷局

第三十回 帝國議會 衆議院議事速記錄第十一號

大正二年三月十八日(火曜日)午後一時三十分開議

議事日程 第十二號 大正二年三月十八日

午後一時開議

質問

- 一 移民ニ關スル質問(森田小六 君提出)
- 二 現内閣ノ施政並議員ノ質問應答ニ關スル質問(澤來太郎 君提出)
- 三 國防ニ關スル質問(澤來太郎 君提出)
- 四 陸軍壯丁ノ體格不良ノ傾向ニ關スル質問(田川大吉 君提出)
- 五 公債政策等ニ關スル質問(早速整爾 君提出)
- 六 米穀其他取引所ニ關スル質問(小西和 君提出)

第一讀會

- 第一 遺失物法中改正法律案(政府提出 貴族院送付)
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
明治四十四年度豫備金支出ノ件
明治四十四年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件
明治四十四年度特別會計豫備金支出ノ件
(承諾ヲ求ムル件)
- 第三 明治四十四年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
明治四十四年度各特別會計歲入歲出豫算追加案
(第一號) 明治四十五年度各特別會計歲入歲出豫算追加案
(特第一號) 明治四十五年度各特別會計歲入歲出豫算追加案
- 第五 水先法中改正法律案(井上敏夫 君提出)
- 第六 民事訴訟法施行條例中改正法律案(岩崎勳 君提出)
- 第七 國有土地森林原野下戻法中改正法律案(岡田泰藏 君提出)
- 第八 產牛馬組合法改正法律案(廣澤辨二 君提出)
- 第九 土地收用法中改正法律案(武市庫太 君提出)
- 第十 東方調查局設置ニ關スル建議案(伊東知也 君提出)
- 第十一 鐵道速成ニ關スル建議案(渡邊修 君提出)

- 第十四 鐵道建設ニ關スル建議案(川原茂輔 君提出)
 - 第十五 信濃川改修工事年限短縮ニ關スル建議案(佐野喜平太 君提出)
 - 第十六 港灣政務統一ニ關スル建議案(西村丹治 君提出)
 - 第十七 鐵道建設ニ關スル建議案(根本正君 君提出)
 - 第十八 國防上農村振興ニ關スル建議案(中川虎之助 君提出)
 - 第十九 國民ノ政治的智德涵養ニ關スル建議案(村松龜一 君提出)
 - 第二十 高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案(根本正君 君提出)
 - 第二十一 朝鮮總督府裁判所令改正ニ關スル建議案(岡田榮 君提出)
 - 第二十二 陸軍幼年學校廢止ニ關スル建議案(石黑磐 君提出)
 - 第二十三 府縣稅及同附加稅率ノ制限ニ關スル建議案(石黑磐 君提出)
- 副議長(關直彥 君) 議長ニ代リマシテ暫ク此席ヲ汚シマス、ソレデハ諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記朗讀)

- 一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
明治四十四年度豫備金支出ノ件
明治四十四年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件
明治四十四年度特別會計豫備金支出ノ件
明治四十四年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件
(承諾ヲ求ムル件)
- 一 貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ
遺失物法中改正法律案
鐵道建設ニ關スル建議案左ノ如シ
提出者 米田 櫻君 福井 三郎君 清 釜太郎君
提出者 山本 七朗君
酒造稅法中改正法律案
提出者 大西五一郎君
酒造稅法中改正法律案
提出者 大西五一郎君
明治神宮建設ニ關スル建議案
提出者 關 直彥君 高木 益太郎君 古島 一雄君
星野 錫君 高木 正年君 鈴木 梅四郎君

官報號外

大正二年三月十九日(明治三十五年第三種郵便物認可)

衆議院議事速記錄第十一號 副議長ノ報告

一六三

稻茂登 三郎君 松下 軍治君 三輪 信次郎君
中島 行孝君 藏原 惟郭君 黑須 龍太郎君

戰死者及戰病死者ヲ地方神社ニ合祀ニ關スル建議案
提出者 米田 穰君 武藤 金吉君 恆松 隆慶君

鐵道抵當法中改正法律案
提出者 阿由葉鎗三郎君 才賀 藤吉君

國稅徵收法中改正法律案
提出者 根岸 曜太郎君 米田 穰君 春田 祐清君
渡邊 修君 中村 啓次郎君

鳥取智頭間鐵道急設ニ關スル建議案
提出者 濱本 義顯君 西谷 金藏君

北海道拓殖補助機關創設ニ關スル建議案
提出者 東 高橋 直治君 人見 米次郎君 早川 鐵冶君
齋藤 圭次君 金子 圭三郎君 木下 成太郎君
柵瀬 軍之佐君 鈴木 寅彦君 日下 義雄君
內山 吉太郎君 八木 逸郎君

一議員ヨリ撤回セラレタル議案左ノ如シ
鐵道抵當法中改正法律案
提出者 三谷 軌秀君

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ
地方行政ニ關スル質問
提出者 有田 溫三君

陸軍軍政ニ關スル質問
提出者 田川 大吉郎君

（左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス）
一 去十五日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
愛知縣下郡廢置法律案
三輪 市太郎君 戶狩 權之助君 森 茂生君
西谷 金藏君 平田 禎君 早川 龍介君
田中 左司馬君 鈴置 倉次郎君

廢兵院法中改正法律案
井上 敏夫君 村井 善四郎君 翠川 鐵三君
三浦 覺一君 村田 虎次郎君 有森 新吉君
小寺 謙吉君 添田 飛雄太郎君 尾崎 元次郎君

一府縣制中改正法律案委員安東敏之君辭任ニ付其補闕トシテ松村時次君ヲ議
長ニ於テ選定セリ
一 委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
廢兵院法中改正法律案委員會
委員長 翠川 鐵三君 理事 尾崎 元次郎君
委員 愛知縣下郡廢置法律案委員會
委員長 三輪 市太郎君 理事 平出 喜三郎君
輕便鐵道法中改正法律案委員會
理事 佐々木 仙一君

一 常任委員長及理事補闕選舉ノ結果左ノ如シ
豫算委員會
委員長 奧 繁三郎君（井上角五郎君補缺）
理事 松田 吉三郎君（奧繁三郎君補缺）

（左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス）
移民ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正二年一月二十日
提出者 森田 小六郎 贊成者 川村 曄
外二十九人

移民ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正二年三月十一日
提出者 澤 來太郎 贊成者 尾崎 行雄
外三十人

一 移民ノ海外發展ハ帝國發展ノ急務ト信ス之ニ對スル政府ノ方針如何
一 在米日本人ニ對スル政府從來ノ方針ハ終ニ彼等ヲ絶滅セシムル外ナキモト認ム
之ニ對スル政府今後ノ方針亦同一ナリヤ
一 在米日本人學齡兒童教育ニ關スル政府當局ノ方針如何
右及質問候也

國防ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正二年三月十一日
提出者 澤 來太郎 贊成者 尾崎 行雄
外三十人

一 本員カ第二十八議會ニ試ミタル國防ニ關スル第十七項質問中「帝國國防ノ
方針如何」同シク「國防上陸海軍ノ權衡ヲ失セシムルニ非スヤ」トノ質問ニ對シ時ノ
陸海軍當局者ハ「帝國國防ノ方針ハ自衛ヲ旨トシ國利國權ヲ擁護シ國是ヲ
貫徹スルヲ以テ目的トス」又「陸海軍ノ權衡ハ國防ノ本義ニ鑑ミ能ク其權衡ヲ
保持セラレツツアリト認ム」ト答辯シタリ現政府モ亦此ノ答辯ト同意思ナリヤ若
同意思ナリトセハ當局者ノ所謂國是及國防ノ本義トハ如何ナル意味ナルカ更
ニ具體的ノ説明ヲ求ム

二 同シク「陸海兩軍國防計畫ノ方針如何」トノ質問ニ對シ時ノ當局者曰ク「軍
事ノ機密ニ屬スルヲ以テ開示スルコトヲ得ス」ト現政府モ亦同意思ナリヤ若同
意思ナリトセハ何故ニ機密ニ屬スヘキモノナルカラ明ニ示セラレヨ

三 同シク「國防上陸海兩軍ノ權衡ヲ失セシムルニ非スヤ」トノ質問ニ對シ前項ニモ掲
ケタル如ク時ノ政府ハ其權衡ハ能ク保持セラレツツアリト答辯シタリ現政府モ
亦同意思ナリヤ若同意思ナリトセハ其ノ權衡保持ノ標準如何

四 同シク「當局者ノ所謂陸海兩軍ノ並行ノ擴張ハ國力トノ調節ヲ缺クノ虞ナキ
カ」トノ質問ニ對シ時ノ當局者曰ク「政府ハ帝國國防ノ本義ニ基キ國力トノ調
節ヲ缺カサルノ範圍内ニ於テ陸海軍及海軍ヲ整備シ以テ國防ノ目的ヲ達セント
欲スト」答辯シタリ現政府モ亦同意思ナリヤ若同意思ナリトセハ帝國現時ノ國
防計畫ハ其ノ調節ヲ缺カサル範圍内ニアリト爲スカ果シテ然ラハ其ノ範圍内ナ
リト云フ理由ヲ具體的ニ明示セラレヨ

五 國防問題ニ關シ第二回豫算會ニ於テ議員大石正己君ノ質問ニ對シ山本首
相ハ曰ク「國防ノ大計ハ業ニ已ニ決定セルモノアリ而シテ此ノ決定ハ一定不變
ニシテ内閣ノ更迭ニヨリ變更スルモノニアラス」ト果シテ然ラハ其ノ一定不變ト稱
スル國防ノ大計ナルモノ如何

- 六 同シク山本首相又曰ク「國防ノ事タル海陸兩軍個々ニ計畫ヲ競フモノニ非スシテ必ス統一ノ目的存ス」ト果シテ然ラハ其ノ目的トハ如何ナルモノヲ指スカ
- 七 又「國防ニ對シテ政府ノ執ル所ノ目的ハ外交ノ如何ニ依リテ變化シ我カ帝國ノ地位ニ鑑ミテ計畫シ而シテ時ノ形勢ニヨリテ緩急ヲ異ニシ從ツテ陸海軍ノ計畫ニ先後主従ノ別アリ」ト然ラハ即チ現時ノ外交ト帝國ノ地位ニ於テハ其ノ目的ニ如何ノ變化ヲ來シ從テ海陸軍ヲ從トシ孰レヲ主トシ又孰レヲ先トシ孰レヲ後トスヘキモノト認ムルカ
- 八 國防計畫ト外交トハ密接ノ關係アルコトハ山本首相ノ言明スル所ナリ果シテ然ラハ現時ノ我カ外交ト國防トハ如何ナル調節ヲ保チ又如何ナル方面ニ如何ナル共同の動作ヲ執リツツアルカ
- 九 殖民問題ハ外交並國防計畫ト密接ノ關係ヲ有スルヤ勿論ナリトス果シテ然ラハ現内閣ノ殖民方針如何又從來執リ來レル滿韓集中策ヲ繼承シ是認シツツアルカ
- 十 第二次日露協約ニ依リ滿洲ニ於ケル彼我ノ勢力範圍ハ已ニ確定セルモノアリト聞ク果シテ然ラハ其ノ範圍及境界線ヲ明示セラレヨ而シテ又其ノ協約ノ前後ニ於テ我カ軍備ニ如何ナル影響ヲ來シタルカ
- 十一 我カ現時ノ國防計畫ハ其ノ根本義ニ於テ攻勢の計畫ナリヤ將タ守勢の計畫ナリヤ或ハ又陸海何レカ一方カ攻勢のニシテ他方カ守勢のナルカ如キコトナキカ又比較的大陸主義海國主義ノ差異ナキカ
- 十二 作戰用兵ノ一事ハ絶對的軍事機密ニ屬スルモノナルヲ以テ議會ニ開示スル限ニアラスト雖モ豫算ノ協贊即チ國防費ヲ要求スル上ニ於テ密接不離ノ關係ヲ有スル國防計畫ニ至テハ必ス議會ニ對シテ開示セサルヘカサルモノト信ス若夫レ計畫ヲ秘シテ單ニ其ノ協贊ヲ求メタルカ如キハ是レ協贊ヲ求ムルニ非スシテ盲從ヲ強ヒタルニ等シ政府ノ所見果シテ如何
- 十三 國防計畫上若ク財政ノ如何ヲ顧慮スルコトナク當局者ノ所謂既定ノ大計ヲ理想通ニ完備セムト欲セハ海陸果シテ幾何程度ノ擴張ヲ要スヘキカ
- 十四 第一回豫算委員會第四分科會ニ於ケル議員大石正己君犬養毅守屋此助三君ノ二箇増師問題ニ關スル質問ニ對スル山本首相ノ應答中ニ例ヘハ増師問題ノ如キ海軍充實ノ如キ究竟スル所財政ノ問題ニ順應セサルハ能ハス「ト果シテ然ラハ財政計畫ト國防計畫ト到底兩立スルコト能ハサル場合アリトモハ現政府ハ如何ニ之ヲ取捨セムトスルカ
- 十五 二箇増師案ナルモノハ山本首相ノ所謂一定不變ノ國防大計中ニ包含セラレサルカ若ク包含シアルトモハ其ノ實行期ハ別問題トスルモ同意シ居ラルモノト解シテ可ナルヘキカ政府ノ所見果シテ如何
- 十六 又第一回豫算委員會第四分科會ニ於ケル議員大石正己君ノ二箇増師問題ニ關スル質問ニ對シ木越陸相ノ答辯ヲ見ルニ「既定ノ中ニ包含セリト思惟ス」ト既ニ然ラハ二箇増師問題ニ之ヲ打切切ナル計畫ナルカ「ト追問ニ對シ又答フ「未タ攻究セサルヲ以テ答辯スル能ハス」ト果シテ然ラハ同一政府ニ異見アルヘキ答ナキヲ以テ木越陸相ノ答辯即政府ノ意見ト見テ可ナルヘキカ
- 十八 木越陸相留任ニ際シ二箇増師問題ニ關シ山本首相トノ間ニ果シテ何等ノ交渉スル處ナカリシカ
- 十九 現時ノ陸海並行の擴張程度ハ果シテ陸海共通ノ計畫ナリヤ換言スレハ陸軍ノ増師問題ハ海軍ノ同意スル所ニシテ又海軍ノ充實程度ハ陸軍ニ於テ異論ナキ所ナルカ

二十一 前陸軍大臣上原勇作君ハ二箇増師問題ノ爲ニ其ノ職ヲ辭スルニ方リ内閣總理大臣ヲ經由セス直接政治上ノ事由ヲ具シタル辭表ヲ閣下ニ捧呈シタリト聞ク果シテ然ラハ官制上正當ノ行爲ト謂フヘカラス之ニ對スル現政府ノ所見如何又木越現陸相ニシテ若同一ノ場合ニ遭遇セハ果シテ如何ノ態度ニ出テムトスルカ

二十二 豫算委員會第四分科會第一回ニ於ケル議員高木正年君ノ質問即チ「陸軍ノ豫算ニ於テハ其整理節減額並ニ其要目如何」ト云フニ對シ木越陸相曰ク「目下調査中ニ付答辯スル能ハス」ト應答セリ今尙果シテ然ルカ

二十三 豫算委員會總會席上ニ於ケル委員守屋此助君ノ海軍擴張ニ關スル質問ニ對シ齋藤海相ハ海軍充實費總額ハ大凡三億八千萬圓ナリト答辯セリ果シテ然ラハ其ノ年度割並之ニ順應スヘキ財政計畫ヲ明示セラレヨ

右及質問候也

陸軍壯丁ノ體格不良ノ傾向ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正二年三月八日

提出者 田川 大吉郎

贊成者 高野 金重

外二十九人

一 陸軍壯丁ノ體格不良ノ傾向ニ關スル質問主意書

明治二十六年ニ方リ全國壯丁ノ徵兵檢査ヲ受ケタル者ハ三十八萬一千五百五十七人ニシテ全人口(男子)二千七百七十五萬二千三百六十八人ノ約一割九分ニ相當シ四十二年ニ在テハ受檢者總數四十三萬四千四百五十八人ニシテ全人口(男子)二千五百三十八萬七千二百一十一人ノ約一割七分ニ相當シ乃チ全人口ニ對スル壯丁ノ割合ハ稍減少シツツアルカ如シ

更ニ受檢者總數ニ對スル徵集兵ノ割合ヲ見ルニ二十六年ニ在テハ受檢者ノ三割一分七厘九毫(十二萬一千二百人)徵集セラレ六割二厘(二十二萬九千六百八十九人)ハ免除セラレタリシモノ、四十二年ニ在テハ五割九分八厘三毫(二十五萬七千五百七十八人)徵集セラレ三割二分五厘七毫(十四萬八百八十七人)ハ免除セラレタル割合ト爲リ即チ約二十年間ニ徵集ノ人員ハ殆ト二倍ニ免除ノ人員ハ殆ト半減シタリ

以上ノ結果トシテ徵集兵ノ體格不良ノ影響ヲ及シタルハ勢ヒノ免ルヘカサル所ナリ即チ三十二年ニ在テハ五尺二寸以上ノモノ七割九分七厘、五尺以上五尺二寸マデノモノ二割〇三厘ナリシカト、四十二年ニ在テハ五尺二寸以上ノ者六割六分二厘、五尺以上五尺二寸以下ノ者三割二分八厘ト爲リ斯テ眞種ノ人漸ク減シ、劣種ノ人著ク増シツツアルノ狀態然レハヘカサルニ似タリ

詳シク言ヘハ三十二年ニハ五尺二寸以上ノ壯丁中甲種一割一分四厘、乙種二割八分七厘、五尺以上ノ壯丁中甲種一割一分四厘、乙種八分九厘ナリシモノ、四十二年ニハ五尺二寸以上ノ壯丁中甲種一割一分四厘、乙種八分九厘、第一種四分四厘、第二種八分二厘、五尺以上ノ壯丁中甲種一割一分八厘、第一種一乙種九分一厘、第二種五厘五分九厘ト爲レリ以テ甲種ノ人漸ク減シ、乙種ノ人漸ク増シツツアル趨勢ノ一斑ヲ確實ニ察知スヘシ特ニ四十年以後ニ在テハ乙種ノ中ニ第一乙種、第二乙種ノ別ヲ設ケ、四十年以前ニハ劣等ノ故ヲ以テ排棄シタリシ程度ノ壯丁ヲ、四十年以後ニ在テハ第二乙種トシテ入選セシメ而シテ其ノ數四十二年ニ於テハ徵集全員ニ對シ一割三分九厘ノ多キヲ占ムルニ至レリ

四 敢て問フ、政府ハ前三項ノ事實ヲ承認スルヤ果シテ然ラハ政府カ陸軍兵徵集ノ當初ニ豫期シタル目的ハ斯デモ尙満足ニ遂ケラレツツアリヤ若ハ不満足ナルヲ免レサルヤ而シテ此ノ如キ低下ノ趨勢ハ將來ニ恢復セラルヘキ何等カノ見込アリヤ若之ヲシトセハ如何、更ニ此ノ上ニ二十五箇師團ニモ擴張セハ壯丁ノ數愈多キヲ加フルニ從ヒ兵士ノ體格ハ愈益低下スヘシ、政府ハタトヘ體格ハ低下スルモ其數ヲサヘ増加セハ以テ擴張ノ目的ヲ達シ得ヘント爲スヤ

五 二十六年、徵集兵ハ十二萬餘ニシテ免除人員ハ二十二萬九千人餘ナリシモノ、四十二年ニハ徵集兵二十五萬ヲ超ヘ免除人員ハ十四萬人餘ト爲リタリ乃チ往時ニ在テハ二十二萬ノ壯丁ハ民間ニ殘サレテ生産ノ業ニ從ヒシモノ近時ニ在リハ其ノ數僅ニ十四萬人ニ過キサルニ至レリ我カ國富ノ増進セラレズ國力ノ充實セサルハ自然ノ勢ニアラスヤ而シテ此ノ如キ事情ノ現在並ニ將來ニ對スル政府ノ見解如何以テ患フヘント爲スカ患フルニ足ラスト爲スカ之ヲ匡救スルノ途アリト爲スカ途ナシト爲スカ有リトセハ則チ其ノ途如何今日ニシテ既ニ然リ今後二十五箇師團ニ増加シタルノ日如何

右及質問候也

參考表ノ一

全國人口及壯丁人員(實數)

年次	徵集人員	同延期人員	同免除人員	兵役免人員	其他	計(受檢)	前年末日人口(男)
明治二十六年	二二,三〇〇	二,四七二	二,九六八	二,九三二	一	三八,一五五	二,〇七五,三六六
同二十七年	二二,〇〇〇	二,四七二	二,九六八	二,九三二	一	三八,一五五	二,〇九〇,四六五
同二十八年	二二,〇〇〇	二,四七二	二,九六八	二,九三二	一	三八,一五五	二,一〇六,四六五
同二十九年	二二,〇〇〇	二,四七二	二,九六八	二,九三二	一	三八,一五五	二,一〇六,四六五
同三十年	二二,〇〇〇	二,四七二	二,九六八	二,九三二	一	三八,一五五	二,一〇六,四六五
同三十一	二二,〇〇〇	二,四七二	二,九六八	二,九三二	一	三八,一五五	二,一〇六,四六五
同三十二	二二,〇〇〇	二,四七二	二,九六八	二,九三二	一	三八,一五五	二,一〇六,四六五
同三十三	二二,〇〇〇	二,四七二	二,九六八	二,九三二	一	三八,一五五	二,一〇六,四六五
同三十四	二二,〇〇〇	二,四七二	二,九六八	二,九三二	一	三八,一五五	二,一〇六,四六五
同三十五	二二,〇〇〇	二,四七二	二,九六八	二,九三二	一	三八,一五五	二,一〇六,四六五
同三十六	二二,〇〇〇	二,四七二	二,九六八	二,九三二	一	三八,一五五	二,一〇六,四六五
同三十七	二二,〇〇〇	二,四七二	二,九六八	二,九三二	一	三八,一五五	二,一〇六,四六五
同三十八	二二,〇〇〇	二,四七二	二,九六八	二,九三二	一	三八,一五五	二,一〇六,四六五
同三十九	二二,〇〇〇	二,四七二	二,九六八	二,九三二	一	三八,一五五	二,一〇六,四六五
同四十	二二,〇〇〇	二,四七二	二,九六八	二,九三二	一	三八,一五五	二,一〇六,四六五
同四十一	二二,〇〇〇	二,四七二	二,九六八	二,九三二	一	三八,一五五	二,一〇六,四六五
同四十二	二二,〇〇〇	二,四七二	二,九六八	二,九三二	一	三八,一五五	二,一〇六,四六五
同四十三	二二,〇〇〇	二,四七二	二,九六八	二,九三二	一	三八,一五五	二,一〇六,四六五

人口 (男) 一万ニ付(比例)

年次	徵集人員	同延期人員	同免除人員	兵役免人員	其他	計
明治二十六年	五八,四五五	〇,六〇	一,〇,六八	一,四,一三	一	八三,八六
同二十七年	五七,七三	〇,四七	一,〇,八,九	一,四,四三	一	八三,八六
同二十八年	三七,九七	〇,五〇	一,二七,九四	一,六,六二	一	八三,八六
同二十九年	八二,〇一	〇,八三	一,〇〇,九二	一,四,四九	一	一八三,〇三
同三十年	六五,二三	〇,九五	一,〇六,三一	一,三,九四	一	一八三,〇三
同三十一	八一,六二	一,一二	九五,九五	一四,五二	一	一八三,〇三
同三十二	八二,八六	一,二七	九一,六五	一四,五八	一	一九〇,三六

年次	總檢數	甲種	乙種	計	甲種	乙種	計	甲種	乙種	計
明治二十六年	一〇〇	五	五	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇	一〇	二〇
同二十七年	一〇〇	五	五	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇	一〇	二〇
同二十八年	一〇〇	五	五	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇	一〇	二〇
同二十九年	一〇〇	五	五	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇	一〇	二〇
同三十年	一〇〇	五	五	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇	一〇	二〇
同三十一	一〇〇	五	五	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇	一〇	二〇
同三十二	一〇〇	五	五	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇	一〇	二〇
同三十三	一〇〇	五	五	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇	一〇	二〇
同三十四	一〇〇	五	五	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇	一〇	二〇
同三十五	一〇〇	五	五	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇	一〇	二〇
同三十六	一〇〇	五	五	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇	一〇	二〇
同三十七	一〇〇	五	五	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇	一〇	二〇
同三十八	一〇〇	五	五	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇	一〇	二〇
同三十九	一〇〇	五	五	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇	一〇	二〇
同四十	一〇〇	五	五	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇	一〇	二〇
同四十一	一〇〇	五	五	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇	一〇	二〇
同四十二	一〇〇	五	五	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇	一〇	二〇
同四十三	一〇〇	五	五	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇	一〇	二〇

検査壯丁徴集人員

検査壯丁徴集人員 (比例)

年次	徵集人員	同延期人員	同免除人員	兵役免人員	其他	計
明治二十六年	三一,七九	〇,三三	六,〇二〇	七,六八	一	一〇〇,〇〇
同二十七年	三一,七九	〇,三三	六,〇二〇	七,六八	一	一〇〇,〇〇
同二十八年	二〇,七四	〇,二七	六,九,九二	九,〇七	一	一〇〇,〇〇
同二十九年	四一,三六	〇,四二	五,〇,九一	七,三一	一	一〇〇,〇〇
同三十年	三三,九四	〇,五八	四,九,六六	七,五二	一	一〇〇,〇〇
同三十一	四二,二四	〇,六七	四,八,一五	七,六六	一	一〇〇,〇〇
同三十二	四三,五二	〇,八四	四,六,〇二	七,八六	一	一〇〇,〇〇
同三十三	四四,六九	〇,九二	四,五,五六	七,七二	一	一〇〇,〇〇
同三十四	四四,六九	〇,九二	四,五,五六	七,七二	一	一〇〇,〇〇
同三十五	四五,七九	〇,九二	四,五,五六	七,七二	一	一〇〇,〇〇

検査壯丁處分 (比例)

年次	徵集人員	同延期人員	同免除人員	兵役免人員	其他	計
明治二十六年	三一,七九	〇,三三	六,〇二〇	七,六八	一	一〇〇,〇〇
同二十七年	三一,七九	〇,三三	六,〇二〇	七,六八	一	一〇〇,〇〇
同二十八年	二〇,七四	〇,二七	六,九,九二	九,〇七	一	一〇〇,〇〇
同二十九年	四一,三六	〇,四二	五,〇,九一	七,三一	一	一〇〇,〇〇
同三十年	三三,九四	〇,五八	四,九,六六	七,五二	一	一〇〇,〇〇
同三十一	四二,二四	〇,六七	四,八,一五	七,六六	一	一〇〇,〇〇
同三十二	四三,五二	〇,八四	四,六,〇二	七,八六	一	一〇〇,〇〇
同三十三	四四,六九	〇,九二	四,五,五六	七,七二	一	一〇〇,〇〇
同三十四	四四,六九	〇,九二	四,五,五六	七,七二	一	一〇〇,〇〇
同三十五	四五,七九	〇,九二	四,五,五六	七,七二	一	一〇〇,〇〇

参考表ノ四

×ハ三十八年ハ甲種ニ限リ四尺九寸以上ヲ採用セリ

同	三十六年	五三、三五	一、〇七	三七、四八	八、〇八	〇、〇二	一、〇〇、〇〇
同	三十七年	六六、〇〇	〇、八九	二五、六三	七、四六	〇、〇二	一、〇〇、〇〇
同	三十八年	七八、〇一	〇、八一	一三、二八	七、三九	〇、〇八	一、〇〇、〇〇
同	三十九年	五〇、七〇	〇、八七	四〇、〇二	八、三九	〇、〇三	一、〇〇、〇〇
同	四十年	五九、三八	〇、八〇	三二、九四	六、八五	〇、〇二	一、〇〇、〇〇
同	四十一年	五七、六五	〇、九二	三四、三八	七、〇三	〇、〇二	一、〇〇、〇〇
同	四十二年	五七、〇五	一、五四	三四、七二	六、六四	〇、〇五	一、〇〇、〇〇
同	四十三年	五九、八三	一、四三	三二、五七	六、〇七	〇、〇〇	一、〇〇、〇〇

一不日營業期間ノ満了ト爲ルヘキ米穀其ノ他取引所ニ對スル政府ノ方針如何
右及質問候也
○副議長(關直彦君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、其前ニ念ノタメ諸君ニ申上ゲテ置キマス、本會期モ凡ソ二分ノ一ヲ經過ヲ致シマス、本會議中ニ委員會ヲ開クノ必要ガアリキマシテ、其手續ヲ省キマス、議會ノ許可ヲ得テ會議中ニ委員會ヲ開クト云フコトノ例ニナッテ居リマス、其旨ヲ御報告致シテ置キマス
○高木正年君 議長
○副議長(關直彦君) 高木君何デスカ
○高木正年君 其前ニ議長ヨリ委員會長ニ御注意ヲ請ヒタイ、ツレハ米初ノ關稅定率改正法律案ノ委員會ハ、既ニ質問ヲ終了致シタ儘ニナッテ開會セズニ居リマス、此改正法律案ハ頗ル重大ナ案件アルニモ拘ラズ、會期切迫ノ今日ニ於テ此委員會ヲ繼續シナイト云フコトハ甚ダ遺憾ナル、委員長ニ對シテ議長ヨリ早速開會致スヤウニ御注意アラムコトヲ希望致シマス
(何ノ案デスカ)ト呼フ者アリ
○高木正年君 米初ノ關稅定率ノ改正法律案ノ委員會デス
○副議長(關直彦君) 高木君ニ伺ヒマス、米初ノ關稅定率改正法律案デスカ
○高木正年君 米初ノ委員會ハ質問ヲ終了シテ討論ニ移ルハカリニナッテ、此間暫クノ間開會ヲシナイノデアリマス、委員長ニドウツ御注意ヲ願ヒタウガザイマス
○副議長(關直彦君) 唯今高木正年君ヨリ米初ノ關稅定率法律改正案ノ委員會ヲ成ベク速ニ開會ヲ請ヒタイト云フコトヲ請求ガゴザイマス、念ノタメ議長ヨリ右法案ノ委員長ニ御通達ヲ申シテ置キマス、ツレハハ質問第一移民ニ關スル質問、提出者森田小六郎君

年次	明治三十二年	甲種	五、〇	第一乙種	二、八七	第二乙種	一、一四
同	三十三年	四六、八	三、〇〇	一、一五	一、一五	一、一五	一、一五
同	三十四年	四六、五	三、一三	一、一八	一、一八	一、一八	一、一八
同	三十五年	四七、六	二、八五	一、〇七	一、〇七	一、〇七	一、〇七
同	三十六年	四二、六	二、五	一、〇七	一、〇七	一、〇七	一、〇七
同	三十七年	三九、九	一、九四	一、〇七	一、〇七	一、〇七	一、〇七
同	三十八年	四八、五	一、九四	一、〇七	一、〇七	一、〇七	一、〇七
同	三十九年	四二、五	一、六	一、〇七	一、〇七	一、〇七	一、〇七
同	四十年	四四、六	一、六	一、〇七	一、〇七	一、〇七	一、〇七
同	四十一年	四四、六	一、六	一、〇七	一、〇七	一、〇七	一、〇七
同	四十二年	四四、六	一、六	一、〇七	一、〇七	一、〇七	一、〇七
同	四十三年	四二、八	一、五	一、〇七	一、〇七	一、〇七	一、〇七

○森田小六郎君 本件ニ關スル質問ハ既ニ本會議ノ始メニ提出致シテ置キマシタケレドモ、イロ／＼事情ニ依リマシテ延べルコトニナリマス、本日茲ニ再ヒ此質問ヲ試ムル機會ヲ得マシタノハ、私ノ光榮トスルコトデゴザイマス、諸君、我帝國ノ最モ深キ憂トスルトコロノモノハ、人口ノ増加ト輸出ノ均衡ヲ誤ツテ居ルト云フ此ニ點デゴザイマス、人口ノ増加ニ對シテハ適當ノ排泄口ヲ拵ヘ、輸入ノ超過ニ對シテハ適當ノ出入ノ接排ヲ計ルト云フガ、帝國ノ現狀ヲ救フコトノ最モ急務ノ一デゴザイマス、諸君、今日ハ人口ノ増加ガ最モ激烈ナ時代デゴザイマス、人口ノ増加ハ殆ド無限デゴザイマス、ケレドモ、之ニ供給スルトコロノ食物ノ供給ハ殆ド限アルノデゴザイマス、從ツテ限リナキトコロノ人口ノ増加ト食物トノ間ノ調節ヲ圖ルガ爲メ、英國ヲ初メテ歐洲先進國ハ皆苦心シテ居ルトコロデゴザイマス、故ニ英吉利ハ十九世紀ノ後半ヨリ五十年ノ間ニ、殆ド一千二百萬ト云フ人民ヲ外國ニ送出シタノデゴザイマス、更ニ今世紀ニ入りマシテカラ十年間ニ六百萬人ノ人間ヲ外國ニ送ツテ居ル、更ニ獨逸佛蘭西露西亞等モ亦多大ノ移民ヲ外國ニ送リマシタ、現ニ既往八十年ノ間ニ於テ、北米合衆國ヘ送出シタトコロノ移民ノ數ハ二千七百萬ハカラアルノデゴザイマス、是等ノ移民ガ本國ニ貢獻スル所ノ力、本國ノ財政ヲ救ヒ本國ノ經濟社會ヲ賑ハス其力ハ實ニ偉大ナルモノデゴザイマス、就中最モ偉大ナルモノハ伊太利ノ移民デゴザイマス、伊太利移民、伊太利ノ亞米利加ニ移住シタ所ノ者ガ、伊太利ノ本國ヲ救フ力ノ最モ偉大ナルコトハ、實ニアノ伊太利ノ素亂シテ居ルトコロノ財政ガ、如何ニシテ救ハレタカト云フコトヲ御調ベニナレバ直チニ判明スルノデゴザイマス、諸君、伊太利ト云フ所ハ洵ニ土地ノ狹イ處デ、サウシテ國ノ產物ガ乏シ

徵集人員細別

五尺二寸以上

五尺二寸未滿

年次	明治三十二年	七九七	二〇、三	一〇〇
同	三十三年	七六八	二二、二	一〇〇
同	三十四年	七七八	二二、二	一〇〇
同	三十五年	七五九	二四、一	一〇〇
同	三十六年	六七七	三二、三	一〇〇
同	三十七年	六〇三	三九、七	一〇〇
同	三十八年	五五三	四四、七	一〇〇
同	三十九年	六六一	三三、一	一〇〇
同	四十年	六六三	三三、九	一〇〇
同	四十一年	六七三	三二、七	一〇〇
同	四十二年	六八〇	三二、〇	一〇〇
同	四十三年	六六二	三三、八	一〇〇

○森田小六郎君登壇
(拍手起ル)

米穀其ノ他取引所ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正二年三月十一日
提出者 小 西 和

贊成者 大口 喜六
外三十一人

米穀其ノ他取引所ニ關スル質問主意書
一 米穀其ノ他取引所ノ現狀ニ對スル政府ノ所見如何

一國デゴザイマス、然ルニ之ニ反比例シテ人口ノ増加ハ非常ニ夥シ、從テ國民ノ常食ト致シテ居ルトコロノ食物、小麥其他種々ノ生活品ノ供給ハ皆外國カラ仰イテ居ルノデゴザイマス、一昨年ノ伊太利ノ外國貿易狀態ヲ調べ見ルト、外國カラ供給ヲ受ケテ居リマスストコロノ小麥ガ二億七千万「リラー」、石炭ガ二億六千万「リラー」、棉花ガ二億二千万「リラー」、鐵バカリデモ一億七百万ト云フ莫大ナル金額ヲ輸入シテ居ルノデゴザイマス、一昨年ノ伊太利ノ輸入超過ハ四億万「リラー」カラアルト云フヤウナ莫大ナル統計ヲ示シテ居ルノデゴザイマス、伊太利ハ年々輸入超過シテ居ル、或年ハ二億万、或年ハ三億万、此狀態ヲ以テ進ミシタナラバ、伊太利ハ終ニ破産ヲ免レヌノデアアルケレドモ、却テ伊太利ノ國富ガ非常ニ増加シテ行ク、北米合衆國ニ居ルトコロノ移民ガ、年々少キハ三億万多キハ七億万圓ト云フ莫大ノ金額ヲ本國ニ輸入スルカラデゴザイマス、諸君、我國ハ伊太利ト同様ニ土地ガ非常ニ狹ウゴザイマス、國產ガ非常ニ少ウゴザイマス、人口ハ非常ニ多ウゴザイマスケレドモ、貿易ハ一向振ハナイ、我國ノ貿易額ヲ一人當リニ付テ調べ見マスルト、漸ク十八圓五十錢デゴザイマス、英吉利ハ二百五十圓、亞米利加ハ八十圓、日本ト殆ど同一ノ國力ヲ以テ居ル伊太利デサヘモ、貿易額ハ一人當リ六十圓ト云フ莫大ナル高ヲ示シテ居ルノデゴザイマス、而モ日本ハ原料品ノ供給ヲ外國ニ仰イテ居ル、現ニ昨年ノ統計ヲ見マシテモ棉花カリ、棉花バカリ一億五千万圓、ツレカラ羊毛石油砂糖、此三科目ニ於テ四千万圓ト云フ莫大ナル金額ヲ輸入シテ居ルノデゴザイマスガ、外國カラ特ニ亞米利加カラ來ル所ノ莫大ナル棉花ハ、日本ニ於テ如何ニシテ消化サレカト云フト、其大部分ハ日本ニ於テ消費サレマシテ、漸ク綿絲トナリ或ハ種々ナル木綿製品トナリマシテ、外國ニ送リ出ス額ハ漸ク四千万圓足ラズデゴザイマス、此ノ如キ狀態デアリマシテ、輸入超過一億万圓ノ聲ヲ聞キマシテモ、敢テ人民ハ之ヲ怪マヌト云フ誠ニ悲慘極マル狀態ニアルノデゴザイマス、正貨ガ流出イタシマシテモ之ヲ補充スル途ガ更ニナイ、此狀態ヲ以テ進ミシタナラバ、近キ將來ニ於テ我國ニハ財政上及ビ經濟上ニ於テ一大危險ガ來ルノデゴザイマス、又我國ノ人口ノ増加率ハ世界ニ於テ第一デゴザイマス、一箇年ノ人口ノ増加ガ五十万乃至六十万ト云フ莫大ナル數ヲ示シテ居リマス、土地ガ極度マデ耕サレマシテ食物ガ非常ニ缺乏シテ居ル、食糧品ノ價ハ日ニ益、騰貴致シマシテ、細民ハ非常ニ困難シテ居ル、單リ細民ノミナラス國民ノ最モ多數ヲ占ムル中産ノ階級ハ、租稅ノ増徴ト物價ノ騰貴ノ爲ニ非常ニ苦シデ居ルノデゴザイマス、人口ノ自然ノ増加ノ結果トシテ、失職者ガ又出來ルト云フコトハ自明ノ理デゴザイマス、現ニ文官高等試験ニ及第致シマシテ其證書ヲ有シナガラ空シク採用サレヌデ苦シデ居ルモノガ、今ニ四百八千人カラアルノデゴザイマス、帝國大學文部省直轄ノ高等專門學校ヲ卒業シテ、今尙其職ヲ得ザル者ガ何千ト云フ許多ノ人數ガアルノデゴザイマス、此狀態ヲ以テ進ミシタナラバ吾々ノ最モ危險トスル所ノ或ハ社會主義或ハ無政府主義ト云フヤウナ危險思想ガ、是等無職ノ高等教育ヲ受ケテ居ルモノカラ出テ來ルノデゴザイマス、誠ニ危險ナル狀態ニナルノデゴザイマス、此危險ナル狀態ヲ救済スル一ノ方法ハ——唯今ノ方法ハ我國ニ有リ餘ル所ノ移民ヲ外國ニ放散スルト云フノガ、是ガ唯一ノ救済方法デアルト私ハ考ヘマス、然ルニ我帝國ノ現狀ヲ救済スル所ノ根本の問題タル移民問題ニ對スル外務當局ノ態度ハ極メテ冷淡デゴザイマス、甞ニ移民ヲ獎勵セザルノミナラス、成ベク移民ガ外國ニ渡航スルコトニ付テハ、制限ヲ加ヘテ居ルコト云フ傾ガアルノデゴザイマス、更ニ移民ニ付テ何レノ地ガ最モ移民ガ安心シテ移住スルコトガ出來ルカ、移民ニ最モ適當シタ土地デアルト云フ事スラ十分ニ調査シテ居ラヌノデアアル、尤モ外務省ガ移民ニ付テ調査ヲシナイト云フコトニ付テハ、一ノ理由ガゴザイマス、ソレハ何デアアルカト申シマス、移民調査費ガ甚ダ少イ、漸ク豫算ニ計上サレタル移民調査費ガ二万圓ニ過ギナイノデゴザイマス、斯クバカリ僅少ノ調査費ヲ以テ十分ニ

移民ニ關スル調査ヲスルコトヲ要求スルノハ、無理ノ注文デアルカモ知レマセスケレドモ、免ニ角移民ニ付テ十分ノ調査ヲシテ居ナイ、然ルニ北米合衆國ハ、北米合衆國ニ居ル所ノ日本人ノ調査ヲスルダケニ、十二萬圓ノ金ヲ費シテ居ル、加州デハ加州ニ居ル日本人ノ狀態ヲ調査スルガタメニ二萬圓ノ金ヲ支出シテ居ル、現ニ外務省ヨリ諸君ニ配布サレタ所ノ此移民調査報告第十一ナルモノハ、外務省ノ手ニ依ッテ出來タモノデアリマス、マセヌ、是ハ北米合衆國ノ政府ガ十二萬圓ノ金ヲ費シテ拵ヘマシタ原書ニ依ッテ、漸ク之ヲ翻譯シテ御茶ヲ濁シテ居ルノデアアル、然ルニ我移民ノ調査區域ハ、非常ニ廣ウゴザイマス、單リ北米合衆國ノミナラズ、墨西哥、南亞米利加、加奈陀及廣袤七十万方里ヲ有シテ居リマス、蘭領南洋諸島、瓜哇「ボルネオ」「スマタラ」等ニ亙リマシテ、最モ廣大ナル區域ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス、故ニ外務當局ハ宜シク大藏省ニ交渉致シマシテ、尙二萬圓ナリ或ハ二萬圓ナリ四萬圓ナリ現在ノ額ヲ以テ満足セズ、相當ノ金額ヲ要求致シマシテ十分ナル調査ヲ遂ゲラレシコトヲ希望イタシマス、要スルニ此第一問ニ對シ移民問題ノ根本的解決ニ對シテ、外務當局ハ確定シタル方針ヲ有スルヤ否ヤニ付テハ私ハ質問スルノデゴザイマス、第二問ニ移リマシテ、在米日本人ニ關スル問題デアリマス、亞米利加ニ居ル日本人ガ最モ發展ヲ致シマシタノハ明治三十八九年ノ交デゴザイマス、此當時ニ在米移民、其他加奈陀或ハ墨西哥或ハ瓜哇等ニ散在シマス所ノ帝國移民ガ、日本ニ送金スル金額ハ年々一千万圓ヲ超過シテ居タノデゴザイマス、然ルニ不幸ニモ明治三十九年ノ十月ニ於テ、諸君ノ御記憶ノ桑港ニ學校問題ガ起リマシタメニ、我北米移民ニ付テ頓挫ヲ來シタデアリマス、此學校問題ハ極メテ輕微ナル問題デゴザイマス、僅ニ七十八ノ日本人ノ小學校生徒ヲ復校セシムルガタメニ、多大ナル犠牲ヲ拂タノデゴザイマス、其結果北米移民ハ益、制限ヲ致サレマシテ、其制限ノ結果、在米日本人ノ人口ガ年々ニ減少シテ參リマシタノデゴザイマス、明治四十一年末ノ統計ニ依リマスレバ、在米日本人ノ總人口十萬三千六百三十八人ト云フ大キナ數ガアツタノデゴザイマスケレドモ、明治四十四年ニハ在米日本人ノ數ガ、九萬三千三百五十九人ニ減ジマシタ、尤モ此中ニハ寫眞結婚ニ依ル再渡航、竝ニ夫婦ノ間ニ生レタル子ガ計上シテアリマスカラ、實際吾々ノ最モ必要トスル壯丁ノ數、其壯丁ノ數ガ千六百七百人カラ減ジタノデゴザイマスカラ、此有様ヲ以テ進ミマシタナラバ、今後二十年或ハ三十年ノ後ニ於テ、在米日本人ノ人口ハ非常ニ減少致シマシテ、彼ノ「ルーズベルト」ノ所謂北米合衆國ニ於ケル日本人ノ數ハ、大日本帝國ニ在ルトコロノ亞米利加人ノ數ト一致スルト云フコトガ、近キ將來ニ於テ實現セラル、コトヲ私ハ大ニ憂フル次第デゴザイマス、諸君、在米日本人ノ送金ノ金額ガ太平洋ノ向フノ岸ニ居リマス加奈陀、墨西哥、或ハ太平洋ノ中間ニ在ルトコロノ瓜哇ヨリ、年々日本ニ送ッテ參リマス金額ガ、唯今テハ千七百八萬圓ノ莫大ナル數ヲ示シテ居ルノデゴザイマス、又在米日本人ノ耕地ハ日本ノ町歩ニ直シマシテ、日本人ガ現ニ所有シテ居リマス土地ガ一万二千五百町歩、借地ガ十一萬三千六百町歩ト云フ廣大ナル面積ヲ今耕シテ居ルノデゴザイマス、然ルニ此狀態ハ外務省ノ現在執ッデ居リマストコロノ政策ノ結果トシテ、送金ハ年々ニ減少スル、耕地モ年々減少スルト云フヤウナコトニナリマシテ、多年ノ苦心ヲ以テ在米日本人ノ占メタルトコロノ地歩ハ、一步々々荒サレツ、アルノデゴザイマス、之ヲ防止スル方法ハ現狀維持、現在亞米利加ニ居リマス移民數ヲ減ラサナイト云フ現狀維持ノ方法ヨリ外ナイノデゴザイマス、例ヘバ一年ニ五人歸レバ五人送ル、再渡航ニ關スル制限ヲ緩ウサレタナラバ此衰頽シツ、アル日本人ノ現狀ヲ維持スルコトガ出來ル、現ニ日本人ヨリ劣等ナル地位ニ在ル在米支那人ハ、確カ現狀維持ヲシテ居リマス、再渡航ニ關スル制限ガ非常ニ緩イノデアリマス、日本モ宜シク支那人ニ倣ヒ、再渡航ニ關スル制限ヲ緩ウシテ、在米日本人ノ現狀ヲ維持スルキウニ努メラレタイモノデアリマスケレドモ、如何セン 外務省ノ現ニ執リ

ツ、アルトコロノ方針ニ依リマスレバ、再渡航ニ關スル制限ガ嚴重ナルガ爲メニ、日ニ益ハ人口ハ減少シテ往キマス、此外務省ノ既往ノ政策ヲ改メズ、尙益、同一ノ政策ヲ執ラル、ヤ否ヤト云フコトヲ特ニ御質問スルノデゴザイマス、又第三問ニ入リマシテ在米日本ノ小學校生徒ノ教育方針デゴザイマス、現ニ亞米利加ニ居リマスコロノ日本人ノ小兒ノ數ハ、三千六百十五人、加奈陀ニ居リマスコロノ小兒ノ數ハ合計致シマスルト、四千八カラアルノデゴザイマス、學齡兒童ノ數ガ千五百八十六人デゴザイマス、是等ノ學齡兒童ヲ教育スル設備、日本人ノ小學校ハ桑港ニ一箇所「シアトル」ニ一箇所「ローサンゼルス」ニ一箇所「サクラメント」ニ一箇所「バンクーバー」ニ一箇所アリマス、併ナガラ是等ノ兒童ヲ如何ニ教育スルカト云フ教育ノ方針ニ付テ、何等ノ確平タル信念ガナイデゴザイマス、現ニ教育ノ任ニ當テ居ルモノガ非常ニ誤テ居ル、故ニ彼等教育ヲ擔當スル者ハ日本ヨリ來米セラル、名士ニ就テ一々其意見ヲ聞イテ居ル、若シ島田三郎君ガ渡米シテ、能ク在米日本人ハ米國ノ教育ニ同化スル方針ヲ以テ教育ヲセヨト云ヘバ、島田君ノ說ニ聞イテ米國ニ同化セヨト云フ、又若シ志賀重昂君ノ如キ國粹保存論者ガ行カレマシテ、日本人ハ大和民族ノ精神ヲ發揚スルヤウニ教育セヨト云ヘバ、其志賀君ノ說ニ聞イテ大和民族主義教育ヲ施スト云フヤウニ、現ニ教育ノ局ニ當テ居ル者ガ大ニ迷ッテ居ルノデゴザイマス、在米日本人ノ壯丁ハ減シマスケレドモ、此小兒ノ數ハ年々ニ増加スルノデゴザイマス、サウシテ日本ノ移民ガ將來英語ヲ話ストコロノ北米合衆國或ハ加奈陀等ニ殖民ヲ致シマス、又西班牙語葡萄牙語ヲ話ストコロノ南米地方ニ移住ヲ致シマス、又或ハ和蘭語ヲ使用スルコロノ南洋諸島ニ移住シマス場合ニ、將來如何ニシテ日本人ノ壯丁ヲ教育スルカト云フコトニ付テ、外務當局ハ一定ノ方針ヲ有セラル、ヤ否ヤト云フコトヲ御伺ヒシタイタメニ、特ニ此三問ヲ出シテ次第デゴザイマス、願クハ責任アル人ヨリ確平タル答辯ヲ願ヒタイノデゴザイマス(拍手起ル)

○副議長(關直彦君) 質問ノ第二ハ後ニ迴スコトニナリマシタ、質問ノ第三ハ國防ニ關スル質問、澤來太郎君

○澤來太郎君登壇

○澤來太郎君 諸君、此國防問題ニ關シテハ昨年ノ議會ニ於キマシテモ、十七項ニ互ル質問ヲ試ミマシテ、各項ニ對シテ時ノ政府ハ詳細ニ答辯サレテアッタノデアリマス、然レドモ尙御開キスルデナケレバ、此問題ノ解決上ニ充分ナリト云フ感ヲ持テ居リマス爲メニ、議會ノ切迫致シマシタルニ拘リマセズ、更ニ本年ノ議會ニ於キマシテ、而モ二十餘項ニ互ル質問ヲ試ムルニ立至ッタノデゴザイマス、言フマデモナク此國防ノ問題ナルモノハ國家ノ存立ニ關スル重大ナル問題デアリマシテ、而シテ其方針ノ立テヤウ其計畫ノ立テヤウ如何ニ依リマシテハ、單リ我財政計畫ノ上ニ至大ナル影響ヲ與フルバカリデナク、或ハ交通機關ノ上ニ、或ハ文教機關ノ上ニ、或ハ殖産興業上其他國民生活ノ一般ノ狀態ニ對シテ多大ナル影響ヲ來スモノデアリマスカラ、此問題ノ解決ナルモノハ取リ直サズ現在ニ於ケル政治社會ノ總テノ問題ノ解決デアルト私ハ信シテ居ルノデゴザイマス、ソレ故ニ議會ノ度毎ニ御清聴ヲ煩スノ已ナキニ立至テ居ルノデゴザイマス、本年ノ豫算委員會其他分科會ニ對シテ、山本首相並ニ木越陸相ノ御答辯サレタル所ニ依リマスレバ、國防ノ大計畫ナルモノハ業ニ已ニ決定シテ居ルト、斯ウ斷言サレテ居リマスレドモ、本員推フニソレハ甚ダ疑ハザルヲ得ヌノデゴザイマス、如何ニモ内閣總理大臣トシテ又陸軍大臣トシテハ、其事ハ一向存シマセストハ御答スルコトハ出來マスマイカラ、確ニ此計畫ハ立ッテ居ルト御答ハ致シマスモノ、其實全ク此方針未ダ立タズ、計畫未ダ畫セラレテ居ラヌモノト私ハ思フノデゴザイマス、ナゼナレバ首相モ申サレマシタ通り、此國防ノ計畫ト云フモノハ四國ノ形勢ト國ノ位置ト國力トニ鑑ミテ、サウシテ此計畫ヲ立テナケレハナラヌト云フコトデアリマスルガ、如何ニモ其通りテアル、四國ノ形勢若クハ

帝國ノ位置並ニ國力ノ如何、此三方面ニ鑑ミマシテ而シテ此大本ヲ立テナケレハナラヌノデアリマスケレドモ、其言葉甚ダ抽象的デアリマシテ、一モ具體的ニ御説明ニナッテ居ラレマセヌカラ、漠トシテ捉フベカラサル感ニ堪エナイノデアアル、殊ニ此國防ノ方針ヲ立テマスル上ニ於テ、就中最モ重キモノハ何デアルカト云フト、即チ外交ノ關係國際ノ關係デアアル、而シテ我國ノ此外交ノ方針ナルモノハ、果シテ一定不變ノ軌道ヲ歩ンデ居ルカドウカト云ヘバ、是亦例年ノ議會ニ於テ屢ニ同僚諸君ヨリ質問サレマシタ通り、ドウモ日本ノ外交方針ナルモノガ未ダ確定シテ居ルモノト見レベキモノハナイヤウニ思ハレルノデアアル、第一ニ鑑ミンケレハナラヌトコロノ此外交ノ方針ナルモノガ確定致サヌ以上ハ、此國防ノ方針ナルモノ、到底確立スル譯ハナイノデアアル、何トナレバ我外交ノ有様ヲ見ルノニ、我外交ハ軍艦ノ先キニ立ッテ居ラヌノデアアル、師團ノ先キニ立ッテ居ラヌノデアアル、何時モ軍艦ノ後ニ隨テ、師團ノ後ニ退イテ居ルノデゴザイマス、即チ我國ニハ所謂國防ノ外交ト云フモノハ未ダ實ヲ施サレテ居ラヌト云ッデモ、敢テ過言デナイト信シマス、國防ノ外交ニシテ完全ニ行ハレテ居ルナレバ、假令軍備ガ不確定不完全デアッデモ、其不完全ナル軍備ヲシテ完全ナル作用ヲアルノガ即チ此外交ノ作用デアアル、所ガ惜イカナ未ダ我國ニハ此底ノ大乗ノ外交ト云フモノハ立ッテ居ラヌヤウニ思フノデゴザイマス、之ヲ又一般カラ評シテ見マスルト、從來我國ノ國防計畫ナルモノハ軍人ト云フ此僅カノ團體ニ於テノ計畫ナルモノ、言葉ヲ換ヘテ之ヲ言ヘバ官僚的國防ハゴザイマシタケレドモ、未ダ曾テ國民的國防ト云フモノハ畫セラレテ居ラナカッタノデゴザイマス、ソレ故ニ此國防ノ大方針ナルモノガ定マツテ居リマセヌカラ、從ッテ此方針ヨリ割出サレテ計畫スルコロノ陸海軍ノ計畫ト云フモノモ、亦併セテ立ッテ居ラヌノデアアル、若シ立ッテ居ルト云ハル、ナラバ、然ラバ如何ナル方針ニ基イテ陸軍ハ如何ナル標準ニシテ如何ナル程度ニ計畫シテ居ルカ、海軍又同様に如何ナル標準ヲ以テ如何ナル計畫ヲ立テ、居ルト云フコトヲ承リタイノデアリマス、若夫我國ノ外交ニシテ、國防ノ外交ヲ施シ孫子ノ所謂「百戰百勝ハ善ノ善ナルモノニ非ス、戰ハスシテ人ノ兵ヲ屈スルハ善ノ善ナルモノナリ」ト謂フタ如ク、此ノ如キ大乗ノ外交ガアッタナラバ、何ヲ苦ンデ今ヤ財政難ニ窮シテ居ルトコロノ此場合ニ於キマシテ、或ハ海軍ノ充實ト云ヒ、或ハ師團ノ擴張ト云ヒ、ソレヲ無理ヤニヤラナケレハナラヌト云フ必要ハ無イノデアアル、所謂戰ハズシテ人ノ兵ヲ屈スルト云フ底ノ大乗ノ外交ガアリマセヌタメニ、吾々ハ此問題ノタメニ、一般國民モ此問題ノタメニ、諸君モ此問題ノタメニ、毎年御憂慮ナサレテ居ルノデアラウト思ヒマス、而シテ本員ノ問ハント欲スルコロノ條項ハ、唯今モ申上ケマシタ通り、二十數項ニ互ッテ居リマスルカラ、此各項ニ對シテ一々辯明ヲ加フルニ至リマシテハ、到底本日一日ヲ費シテモ辯明シ切レヌコト、思ヒマス、ソレ故ニ此箇條項一々朗讀致シマシテ、其中ニ是非トモ辯明ヲ致サンケレハナラヌト思ヒマスルニ二三條項ニ就テ辯明ヲ試ミヤウト思ヒマス、國防ニ關スル質問主意書、一、本員カ第二十八議會ニ試ミタル國防ニ關スル第十七項質問中「帝國國防ノ方針如何」同シク「國防上陸海軍ノ權衡ヲ失セムルニ非スヤ」トノ質問ニ對シ時ノ陸海軍當局者ハ「帝國國防ノ方針ハ自衛ヲ旨トシ國利國權ヲ擁護シ國是ヲ貫徹スルヲ以テ目的トス」又「陸海軍ノ權衡ハ國防ノ本義ニ鑑ミ能ク其權衡ヲ保持セラレツツアリト認ム」ト答辯シタリ現政府モ亦此ノ答辯ト同意思ナリヤ若同意思ナリトセハ當局者ノ所謂國是及國防ノ本義トハ如何ナル意味ナルカ更ニ具體的ノ説明ヲ求ム、是ガ第一項デス、二、同シク「陸海兩軍國防計畫ノ方針如何」トノ質問ニ對シ時ノ當局者曰ク「軍事ノ機密ニ屬スルヲ以テ開示スルコトヲ得ヌ」ト現政府モ亦同意思ナリヤ若同意思ナリトセハ何故ニ機密ニ屬スヘキモノナルカラ明示セラレヨ、此項ニ就テチヨット申シテ置キマス、國防計畫ガ機密デアルト云フノガ私ハ分ラヌデス、如何ニモ作戰計畫並ニ用兵上ノ事ニ至リマシテハ、是ハ參謀本部ノ内ニ於キマシテモ、機密中ノ機密ニ屬シテ居ルノデアアルケレドモ、此國防ノ計畫ガ機密デアラシテ開示スルコトガ

出來ヌト云フコトハ、到底私ノ腑ニ落チヌノデアル、何トナレバ若シ此計畫ナルモノヲ議
會ニ對シテ秘密ニシ、諸君、吾ニ對シテ開示スルコトヲセヌナラバ、如何ナル理由ヲ以
テ此計畫ニ伴フコトノ經費ヲ要求スルノデゾイマセウ、經費ヲ要求スルニ付キマシテ
ハ、是レタノ計畫ナルニ因テ之ニ必要ナル費用デアルト云フ理由ヲ添ヘナケレバナラ
ヌモノデアラウト思フノデアル、所ガ計畫ハ到底前方ニ開示スルコトハ適ハヌガ、此經費
ノ點ニ於テノミハ是非協賛ヲ與ヘテ吳レト云フガ如キコトハ、昨年ノ議會ニ於テモ申上
グマシテ通り、例ヘバ會社銀行ノ設計目論見ヲ秘密ニシテ、サウシテ株券ヲ拂込ミヲ請求
スルト、同一事由デアラウト思フノデアリマス、然レモ曩キニ内閣時ノ政府ハ、之ヲ秘密ニ
リシテ明カニ御答ニナシテ居ラヌデアリマス、現政府ハ又曩キノ政府ト同ジク、ヤハリ此
國防ノ計畫ナルモノヲ飽マデ議會ニ對シテ秘密ニセンケレバナラヌト云フ考ヲ御持チニ
ナデ居ルカドウカ、之ヲ承リタイノデアリマス、三、同ジク、國防上陸海兩軍權衡ヲ失セル
ニ非ヌヤ」トノ質問ニ對シ前項ニモ揭ゲタル如ク、時ノ政府ハ「其權衡ハ能ク保持セラ
レツツアリ」ト答辯シタリ、現政府モ亦同意思ナリヤ、若同意思ナリトセバ其權衡保持
ノ標準如何、時ノ政府ハ唯權衡ハ能ク保持セラレテ居ルト答ヘタバカリデ、其標準ヲ示
サナカッタデアリマス、故ニ私ハ現政府ニ對シテ又同意思ナリトセバ其權衡保持ヲ示
居ル保持ノ標準ヲ承リタイ、四、同ジク「當局者ノ所謂海陸兩軍ノ並行の擴張ハ國力
トノ調節ヲ缺クノ虞ナキカ」トノ質問ニ對シ時ノ當局者曰ク「政府ハ帝國國防ノ本義ニ
基キ國力トノ調節ヲ缺カサルノ範圍内ニ於テ陸軍及海軍ヲ整備シ以テ國防ノ目的ヲ
達セント欲ス」ト答辯シタリ現政府モ亦同意思ナリヤ若同意思ナリトセバ帝國現時ノ國
防計畫ハ其ノ調節ヲ缺カサル範圍内ニアリト爲スカ果シテ然ラハ其ノ範圍内ナリト云フ
理由ヲ具體的ニ明示セラレヨ、五、國防問題ニ關シ第二回豫算會ニ於テ議員大石正
己君ノ質問ニ對シ山本首相ハ曰ク「國防ノ大計ハ業ニ三決定セルモノアリ而シテ此ノ決
定ハ一定不變ニシテ内閣ノ更迭ニヨリ變更スルモノニアラス」ト果シテ然ラハ其ノ一定不
變ト稱スル國防ノ大計ナルモノ如何、六、同ジク山本首相又曰ク「國防ノ事ハ其ノ海陸兩
軍個々ニ計畫ヲ競フモノニ非ヌシテ必ス統一ノ目的ヲ存ス」ト果シテ然ラハ其ノ一定不
變ト稱スル國防ノ大計ナルモノ如何、七、又「國防ニ對シテ政府ノ執所ノ目的ハ外交ノ如何ニ依リテ
變化シ我カ帝國ノ地位ニ鑑ミテ計畫シ而シテ時ノ形勢ニヨリテ緩急ヲ異ニシテ從テ陸海
兩軍ノ計畫ニ先後主從ノ別アリ」ト然ラハ即チ現時ノ外交ト帝國ノ地位ニ於テハ其ノ
目的ニ如何ノ變化ヲ來シ從テ海陸兩軍ノ計畫ニ先後主從ノ別アリト然ラハ即チ現時ノ外交ト
スヘキモノト認ムルカ、果シテ山本首相ノ申サレタ通り、國防ノ計畫ナルモノハ外交ノ
如何ニ依リテ變化スルモノデアッテ、時ノ形勢ニ依テ緩急ヲ異ニスルモノデアルトスレバ、現
在我ガ外交狀態ヨリ見テ帝國ノ地位ニ鑑ミテ、而シテ時ノ形勢ニ鑑ミテ執レテ緩ト
シ、執レテ急トスルノデアアルカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ執レテ先トシ執レテ後トスルノデア
アルカ、所謂陸主海從カ、海主陸從カ、或ハ陸先海後カ、海先陸後カ、此點ヲ明瞭ニ御
答アラントウ希望スルノデアリマス、八、國防計畫ト外交トハ密接ノ關係アルコトハ山
本首相ノ言明スル所ナリ果シテ然ラハ現時ノ我カ外交ト國防トハ如何ナル調節ヲ保チ
又如何ナル方面ニ如何ナル共同の動作ヲ執リツツアルカ、九、殖民問題ハ外交並國防
計畫ト密接ノ關係ヲ有スルヤ勿論ナリト果シテ然ラハ現内閣ノ殖民方針如何又從來
執リ來レテ滿韓集中策ヲ繼承シ是認シツツアルカ、曩ニ桂内閣時代ニ於キマシテハ
我が移民ノ方針即チ殖民政策ナルモノヲ議院ニ開示スルニ當リテ、滿韓集中策ヲ執
テ居ルト云フコトヲ言明サレタノデアリマス、現政府モ亦果シテ此滿韓集中策ヲ繼
承シ、是認サレタ、アルモノカドウカ、此問題ハ我が國防政策ヲ定ムル上ニ於テ至大密
接ノ關係アルモノデアリマス、特ニ明白ナル御答ヲ希望スルノデアリマス、十、第二次
日露協約ニ依リ滿洲ニ於ケル彼我ノ勢力範圍ハ已ニ確定セルモノアリト聞ク果シテ然
ラハ其ノ範圍及境界線ヲ明示セラレヨ而シテ又其ノ協約ノ前後ニ於テ我カ軍備ニ如何

ナル影響ヲ來シタルカ、此一項ハ或ハ軍機ノ機密ニ互テ居ルカモ知レマセヌカラ、若シ
機密ニ互テ居ルモノト致シマスレバ秘密會議デモ宜シウゴザイマスカラ、吾々國民ガ如何
ニモサウデアアルカト合點致スヤウニ御答下サルコトヲ望ミマス、十一、我カ現時ノ國防計
畫ハ其ノ根本義ニ於テ攻勢の計畫ナリヤ將テ守勢の計畫ナリヤ或ハ又陸海何レカ一
方カ攻勢のニシテ他方カ守勢のナルカ如キコトナキカ又比較的大陸主義海國主義ノ
差異ナキカ、十二、作戰用兵ノ一事ハ絕對的軍事機密ニ屬スルモノナルヲ以テ議會ニ
開示スル限ニアラスト雖モ豫算ノ協賛即チ國防費ヲ要求スル上ニ於テ密接ノ關係
ヲ有スル國防計畫ニ至テハ必ス議會ニ對シテ開示セルハカラサルモノト信ス若夫レ計
畫ヲ秘密ニシテ單ニ其ノ協賛ノミヲ求メタルカ如キハ是レ協賛ヲ求ムルニ非ヌシテ盲從ヲ
強ヒタルカ、十三、政府ノ所見果シテ如何、是ハ先刻モチヨット辯明シテ置キマシタカラ、
辯明ヲ省キマス、十四、國防計畫上若何程度ノ擴張ヲ要スヘキカ、
既定ノ大計ヲ理想通ニ完備セムト欲セハ海陸果シテ幾何程度ノ擴張ヲ要スヘキカ、十
四、第一回豫算委員會第四分科會ニ於ケル議員大石正己君ノ質問問題ノ如キ海軍
充實ノ如キ究竟スル所財政ノ問題ニ順應セラレハ能ハス」ト果シテ然ラハ財政計畫ト國
防計畫ト到底兩立スルコト能ハサル場合アリトセハ現政府ハ如何ニ之ヲ取捨セムトス
ルカ、十五、二箇増師案ナルモノハ山本首相ノ所謂一定不變ノ國防大計中ニ包含セラ
レサルカ若包含シタリトセハ其ノ實行期ハ別問題トスルモ同意思ニ居ラルモノト解シテ可
ナルヘキカ政府ノ所見果シテ如何、十六、又第一回豫算委員會第四分科會ニ於ケル
議員大石正己君ノ二箇増師問題ニ關スル質問ニ對シ木越陸相ノ答辯ヲ見ルニ「既定
ノ中ニ包含セリト思惟ス」ト既ニ然ラバ「二箇師團限リニテ之ヲ打切リ計畫ナリカ」ト追
問ニ對シテ又答フラク「未タ攻究セサルヲ以テ答辯スル能ハス」ト果シテ然ラバ同一政府
ノ異見アルベキ答ナキヲ以テ木越陸相ノ答辯即チ政府ノ意見ト見テ可ナルベキ、十
七、木越陸相ノ留任ニ際シ二箇増師問題ニ關シ山本首相ト問ニ果シテ何等ノ交渉
スル所ナカリシカ、此點ニ關シ山本首相ガ委員會ニ對シテ説明サレマシタル所ニ依
レバ、何等ノ交渉モ無カッタモノ、如クニ御答ニナッテ居ラル、而シテ一方木越陸相ハドウ
云フコトヲ言ハレテ居ルカト云フ、此問題ハ内閣更迭ノ爲メニ豫算ニ計上スルコトガ
出來ナカッタバカリデアアル、斯ウ答ヘラレテ居ルノデアリマス、首相ノ説明ト陸相ノ説明ト
ヲ對照シテ見マスレバ、其間ニ何等カノ交渉ガアッタニ相違ナシト推スヨリ外ニ途ハ無イノデ
アリマス、果シテツレトモ御交渉ガ無カッタデアアルカ、若シアッタトスレバ如何ナル御交渉
ガアッタデアアルカヲ承リタイノデアリマス、十八、現時ノ陸海並行の擴張程度ハ果シテ
陸海共通ノ計畫ナリヤ、換言スレバ陸軍ノ増師問題ハ海軍ノ同意スル所ニシテ、又海
軍ノ充實程度ハ陸軍ニ於テ異論ナキ所ナルガ、本員想フニ陸海交、國防費ノ分捕ヲ競
爭シテ居ルヤウニ思ハル、ノデアアル、ツレ故ニ此問題ハ是非御同シテ置カナケレバナラヌ必
要ガアルノデアゾイマス、十九、前陸軍大臣上原勇作君ハ二箇増師問題ノタメニ其職
ヲ辭スルニ方リ、内閣總理大臣ヲ經由セズ直接政治上ノ事由ヲ具シタル辭表ヲ閣下ニ
捧呈シタリト聞ク、果シテ然ラバ官制上正當ノ行爲ト謂フベカラズ、之ニ對シテ現政府
ノ所見如何、又若シ木越現陸相ニシテ同一ノ場合ニ遭遇セバ果シテ如何ノ態度ニ出
レマセヌ、然ラバ試ミニ問ハシ、若シ木越現陸相ニシテ前ノ陸軍大臣ノ如ク此ノ二箇師
團増設問題ノ爲メニ現内閣ト衝突ヲ見ルニ已ムベカラザル場合ニ際シテ置キマシタラバ、果
シテ如何ノ態度ニ出アラレントスルノデアアルカ、之ヲ豫メ吾々ハ承知シテ置キタイト思フノデ
アリマス、即チ陸軍官制ノ憲政運用ニ大ニ支障アル所以ハ、此ニ存シテ居ルノデア
アル、開ク所ニ依レバ軍人界ニ於ケル程社會主義ヲ憎ムモノハ無イト云フコトデアアル、無政府
主義ハ無論大ニ之ヲ厭ウテ居ルサウデアアルケレドモ、諸君、曩ニ上原陸軍大臣ノ態度ニ

徴シテ見レバ、陸軍ハ無政府主義ナルモノヲ實行シテ居ルト私ハ斷言スルニ躊躇セヌノ
デアル、何トナレバ西園寺内閣時代ニ於テ一箇師團増設ニ對シテハ、陸軍大臣ヲ除イ
タル所ハ一人モ之ニ賛成スル者無カッタノデアル、此増師問題ニ賛成ノ國務大臣ハ陸
軍大臣一人シカ無カッタノデアル、然ルニ時ノ陸軍大臣ハ内閣會議ノ決定ニ服スルコト
ナク、唯今讀ムデマシタ通り辭表ヲ閣下ニ捧呈スルニ至ッタノデアル、其結果再ヒ陸軍
大臣ヲ得ント欲スルモ、到底得ベカラザルノ境遇ニ立至ッテ、西園寺内閣ハ御承知ノ通
リ倒レタノデアル、諸君、苟モ此會議ニ列シタル以上ハ、其會議ノ性質トシテ多數決ニ
服從スルノ義務ハ前定サレテ居ルモノデアル、然ルニ己レノ意見ガ容レラナイカラトシ
テ、陸軍ノ威信ガ立たヌト云フ口實ヲ以テ、内閣ノ所謂會議ノ決定ニ服セズシテ、己レ
獨リ超然トシテ去ルガ如キハ、取リモ直サズ政府ヲ無視スルモノデアル、故ニ私ハ是ハ無
政府主義ヲ實行シタルモノデアルト思フノデアル、況モ再ヒ陸軍大臣ヲ得ント欲スレバ、
更ニ今度ハ同盟罷官ヲ企テ、陸軍同盟ヲ企テ、「ストライキ」ヲ企テ、再ヒ陸軍大
臣ヲ得ントシテモ得ルコト能ハナイヤウニ、同盟罷工ト云ッタラ失禮デアリマセウガ、同盟
罷官ヲ企テ、是レ即チ陸軍自ラ無政府主義ヲ實行シ、社會主義ヲ實行シタルモノナ
リト云フモ、之ニ對シテ相當ノ御答ノ辭ガ無カラウト私ハ信ズルノデアル、二十、豫
算委員會第四分科會第一回ノ會ニ於ケル議員高木正年君ノ質問、即チ「陸軍ノ豫
算ニ於テハ其整理節減額並ニ其要目如何」ト云フニ對シ木越陸相曰ク「目下調査中ニ
付キ答辯スル能ハズ」ト應答セリ、今尙果シテ然ルカ、二十一、豫算委員會席上ニ
於ケル委員守屋此助君ノ海軍擴張ニ關スル質問ニ對シ、齋藤海相ハ海軍充實費總
額ハ大凡三億六千萬圓ナリト答辯セリ、果シテ然ラバ其年度割並ニ之ニ順應スベキ財
政計畫ヲ具體的ニ明示セラレヨ、大要斯ル條項デゴザイマス、此各項ニ對シテ必ズ昨
年ノ議會同様、誠意ヲ以テ御答ヘ下サルニ相違ナイト信ジマスガ、此中ニハ所謂軍事
ノ機密ヲシキモノモ往々混ッテ居ルト思ヒマス、果シテサウ云フ箇條ガアリマシタラバ、是
ハ公會デナクモ秘密會ノ席ニ於テ承リタク存ズルノデゴザイマス、尙終リニ臨ンデ附加
ヘテ申上ゲテ置キタイコトハ、總テ此國防ノ計畫ナルモノハ四圍ノ形勢ト云フモノニ重キ
ヲ措カナケレバナラスコトハ、既ニ申上ゲタ通りデゴザイマスガ、然ルニ山本首相ガ二月二
十七日ノ開會ニ際シテ、御演說ニナラレタル所ニ依リマスレバ、四圍ノ形勢ハ或ハ陸軍
ヲ擴張シ或ハ海軍ヲ擴張スルガ如キ形勢ニナツテ居ラヌコトヲ明白ニ御演說ニナラレテ居
リマス、即チ上ノ方ヲ略シマシテ、諸君帝國ト列國トノ交際ハ前内閣總理大臣ガ本議
場ニ於キマシテ開陳致シマシタル如ク、益々親善ヲ加ヘ英國ト同盟ハ愈々鞏固ニ日
佛日露ノ兩協約ハ益々實效ヲ收メテ、アリマスノ諸君ト共ニ大ニ喜ブ所デゴザイマス「吾
國民ニ對シテ内閣首相ガ外交の辭令ヲ用ヒサル限リハ此通りニ相成テ居ルモノト承知
シテ差支ナイト私ハ思フ、果シテ然ラバ四圍ノ形勢或ハ陸軍ノ一箇師團ヲ増設シ、或ハ
海軍ヲ充實スルト云フガ如キ必要安クニ在ルカ、若シアリトスレバ此時御演說ニナリマシ
タル四圍ノ形勢ナルモノハ嘘ニナラナケレバナラスノデアリマス、併セテ此事ヲ承リタク存
スルノデゴザイマス、甚ダ長イ時間御清聴ヲ煩シマシテ感謝ノ至ニ堪ヘマセヌ（拍手起ル）
○副議長（關直彦君） 次ハ質問ノ第四、陸軍壯丁ノ體格不良ノ傾向ニ關スル質
問、田川大吉郎君

（田川大吉郎君登壇）

○田川大吉郎君 諸君、陸軍ノ現狀ニ關シテハ、唯今澤君ノ質問ニアリマシタヤウナ、
諸君ノ問題モ必ズ諸君ノ注意ヲ拂ッテ居ラレル重大ナル事項ト存ジラレマス、私ノ今茲
ニ質問セントスルハ此ノ如キ國防ノ正面問題デナクシテ、陸軍ノ壯丁ノ體格ニ關スル
寧ろ體格ノ不良ニ關スル、尙大切ノ性質ヲ失ハナイト信ズル問題ノ一ツデアリマス、

此質問ニ對シマシテハ私ハ先ツ二三ノ事實ヲ諸君ノ前ニ御參考ニ述ベテ見タイ、二三ノ
事實ガ此質問ノ前提基礎ヲ爲シ、アルノデアリマス、其一ツノ事實ハ明治二十六年、今
日ヨリ約二十年ノ前ニ遡リマシテ、全國ノ壯丁ノ徵兵ノ検査ヲ受ケマシタ者ハ、約二十
八萬人デアリマシタ、當時ノ人口ノ男子ノ總數ニ比較致シマシレバ、約一割九分ニ相
當致シテ居リマシタ、降シテ四十三年、今ヨリ一三年ノ前ニ至ッテ徵兵ノ検査ヲ受ケマシ
タ者ハ約四十三萬人デアリマス、此數ハ當時ノ男子ノ總數ニ比較致シマシテ、一割七
分ニ相當致シテ居リマス、二十年ノ前ニハ全人口ノ一割七分ニ相當スル徵兵ノ受檢者
ガアリ、二十年後ノ今日ニ於テハ全人口ノ一割七分ニ相當スル徵兵ノ受檢者ガ
ナイ、此ノ如キコトハ此數字ニ依リテ考ヘマスレバ、吾々ノ壯丁ノ數ガ、年ヲ逐ウテ減少シ
ツ、アル傾向ヲ示スモノデハナトカト思フノデアリマス、尙數字ノ比例ヲ申上ゲマスレバ、二
十六年時分ノ其受檢シタ壯丁ノ數ハ人口一萬人ニ對シテ八百八十三人ニ當リ、四十
三年ニ於キマシテハ人口一萬人ニ對シテ六百六十九人ニ當リ、前ニ二百八十三人ニ當リ、
後ニ二百六十九人ニ當リ、此數字ノ傾向ガ我が受檢壯丁ノ年ヲ逐ウテ減少シツ、アル傾
向ヲ示スモノデハアルマイカト思フノデアリマス、是ガ第一ノ事實、第二ニ二十六年頃ニ
受檢致シマシタ前ニ申シマシタ二十八萬人ノ中ニ、徵集セラレマシタ者ハ三割一分七
厘九毛、假ニ三割一分申上ゲマセウ、當時三割一分デアリマシタモノガ、四十二年ニ
於テハ五割九分八厘三毛、假ニ是ハ六割ト申上ゲテモ宜イト思フ、前ニ三割一分シカ
徵集セラレナシタ所ノ壯丁ガ、後ニ六割迄約二倍ノ數タケ徵集セラル、コトナリ來ッ
タ、是ガ第二ノ事實デアリマス、前ノ第一ノ事實ト第二ノ事實ヲ比較對照シテ考ヘマスレ
バ、徵集セラレツ、アル壯丁ノ體格ガ自然ニ惡クナリツ、アル、體格ノ標準ガ自然ニ低下
シツ、アルト云フコトハ疑フ餘地ノ無イ事實デアルト思フノデアリマス、私ハ茲ニ其二十年
間ニ於ケル徵兵ノ體格検査ノ成績ヲ、略々調ベ得タ積リデ參考書ニハ附加ヘテ置キマシ
タ、其數字ヲ茲ニ繰返シマスコトハ御迷惑デアルト存ジマス故ニ繰返シマセヌ、唯以上ノ
ヤウナ計數ヲレカラ其以前二十六年頃ニ當リマシテハ五尺二寸以上ノ身長ヲ有スル者
ノ數ガ全體ノ七割九分七厘、約八割ノ數ニ達シテ居リマシタモノガ、四十二年ニ至ッ
テハ六割六分ノ數ニマデ落ち來ッタ、斯ウ云フ數字ガ前申上ゲマシタ通り、體格ガ年ヲ逐
ウテ低下シツ、アルト云フコトヲ明確ニ證據スルモノデアルト云フ風ニ思フノデアリマス、又
ワレニ附加ヘテモウ一ツ申上ゲナケレバナラスノハ、明治四十年ノ以前ニ徵兵ノ検査ヲ致
シマスノ、第一乙種並ニ第二乙種ナルモノ、區別ハ無カッタノデアル、四十年ニ至ッ
テ始メテ此二種ノ區別ガ起ツタ此時以後始メテ第二乙種ノ壯丁ノ徵兵ノ中ニ見ルコト
ニナッタノデアリマス、其第二乙種ノ壯丁ノ數ガ四十二年ニ於テハ一割三分九厘ノ多キ
ニ達シテ居ル、此事實ガ我が壯丁ノ體格ガ益々衰ヘツ、アルト云フコトヲ示スモノ
デアルト私ハ信ズル、ソコデ私ハ此事實ガ眞ナリヤ又誤ナリヤト云フコトヲ政府ニ向ッテ問
ヒタイノデアル、政府ハ此三項ノ事實ヲ事實ナリトシテ承認スルヤ如何、斯ウ云フコトガ此
ニ於テ起ル私ノ第一ノ質問デアリマス、之ヲ事實ナリトシテ政府ガ承認致シマスレバ、政府
ハ陸軍兵ヲ徵集スル當初ニ立テマシタル目的ハ、今モ尙満足ニ達セラレツ、アリヤ否ヤト
云フコトガ第一ニ起ル問デアリマス、若クハ此現狀ニ對シテハ政府モ亦心カラ不満足ニ
感ジツ、アリヤ否ヤ、又此ノ如ク年々低下シテ行キマスル趨勢ヲ、將來ニ於テ恢復セント
スル何等カノ見込アリヤ否ヤ、斯ウ云フコトヲ問ヒタイノデアリマス、又將來ニ於キマシテ
恢復セベキ何等カノ見込アリヤ否ヤ、其將來ニ處スル政府ノ見解如何、ツレガ次ニ起ル
問題デアリマス、更ニ二箇師團ノ増加ト云フコトガ問題ニナツテ居リマスケレドモ、私ハ
陸軍ノ中ニハ二十五師團ニマデ擴張シナケレバ止マナイトスル一種ノ意見ガ成立シテ居
ルコトヲ聞イテ居ルコト已ニ久シイ、果シテ然ラバ二十五師團ニモ擴張スルノ日ニ當ッテ
我が壯丁ノ體格ノ低下シテ行ク所ノ傾向ヲ如何ニ見ルカ、如何ニ見ツ、アルカ、左様ニ體

格が段々低下シテ行ク所ノ壯丁ヲ以テモ、尙澤山ノ師團ヲ擴張シサヘスレバ、即チ擴張ノ目的ヲ達シタリト爲スヤ否ヤ、是ガ問デアリマス、此間ニ附加ヘテモウツノ事ヲ申シテ見タイ、前ニ申シマシタ二十六ノ場合ヲ借りマスガ、其時分ニ徵集セラレマシタ兵ハ十二萬餘アル、徵集ヲ免除セラレシモノハ二十二萬ヲ超ヘタ、四十二年ニ至ッテハ徵集兵ナルモノハ二十五萬ヲ超ヘテ、徵集ヲ免除セラル、者ガ十四萬ニ下ッテ、二十年前ニハ二十二萬ノ壯丁ガ民間ニアッタ、二十年後ニハ十四萬ノ壯丁シカ民間ニ無クナッタ、私ハ此徵集兵ナル數字ノ内容ニ付テ茲ニ申上ゲツ、アル通り、單純ナル事情デナイコトヲ承知致シテ居リマス、茲ニ私が掲ゲツ、アル數字ハ、是ハ陸軍ノ壯丁ノミデハナイ、海軍ノ壯丁モ亦加ッテ居ル、陸軍ノ現役兵ノミデハナイ、其補充兵モ亦加ッテ居ル、併シ其現役幾何補充兵幾何ト云フノ内容ニ立入ルコトハ、私が誓ッテ遠慮シナケレバナラヌ事情デアリマス、故ニ私ハソレニ立入ッテ居ナイ、立入ルコトハ努メマスガ、今申シタヤウナ數字ニ依テ表ハレル如ク、二十六年ニ假ニ十二萬餘ノ壯丁ガ徵集セラレタシテ、四十二年ニハ其數ガ二十五萬ニ達シタ、二十年間ニハ二十萬ノ壯丁ガ民間ニ殘サレタシテ、二十年後ニハ民間二十四萬ノ壯丁シカ殘サレナクナッタ、此數字ノ鈞合ニ於テ表ハレル其結果デアル、其影響デアリマス、ソレヲ政府ガ如何ニ見テ居ルカ、簡單ニ私ノ思フコトヲ述ベマスレバ、斯ノ如ク民間ニ殘サレシ生業ニ從事スル壯丁ノ數ガ減シツ、行キマス以上ハ、國富ガ増進シナイ國力ガ充實シナイコト云フハ、是ハ當然ノ結果デアルト斷ズルヨリ外ナイデアリマス、而シテ斯ノ如キ事情ノ現在在リ、將來ニ對スル政府ノ見解如何、政府ハ此傾向ヲ以テ憂フベシト爲スカ、若クハ憂フルニ足ラズト爲スカ、憂フルニ足ラナイト爲スナラバ其理由如何、憂ヘナケレバナラヌト爲スナラバ之ニ應ズルノ途ハ如何、此傾向ヲ匡救スルコトヲ爲スカ、若クハ途ナシト爲スカ、若シ途ナシト爲セバ將來ニ處スルノ策如何、若シ途アリトスルナラバ其途如何、是ガ私ノ問デアリマス、私ハ此問ヲ以テ單リ私一人ノ胸中ニ自然ニ沸イタ憂デアルト爲サルノミナラズ、諸君モ亦此現象ニ對シテ多大ノ憂ヲ抱イテ御出ニナルト信ズルデアリマス、依テ諸君ト共ニ此問題ニ對シテ、政府ノ明快ニシテ適切ナル回答ヲ待タイト思フモノデアリマス

○副議長(關直彦君) 次ハ質問ノ第五、公債政策等ニ關スル質問、是ハ提出者早速整爾君ヨリ延期ノ申出ニナリマシタカラ 延期致シマス、次ハ質問ノ第六、米穀其他取引所ニ關スル質問、提出者小西和君

(小西和君登壇)

○小西和君 一昨日大阪ニ參リマシテ、憲政擁護大會ノ席デ柄ニモナイ御饒舌ヲ致シマシテ、大キナ聲ヲ出シタメニ聲ヲ枯ラシマシタ、サナキガニ咄辯ノモノデアリマスカラ、御聽苦シイ段ハ豫メ御託ヲ申上ゲテ置キマス、諸君、本員ガ政府ニ問ハント欲スルコトハ、米穀其他取引所ニ關スル件デゴザイマス、申スマデモナク取引所ノ設立ノ目的トスルトコロハ、米穀其他商品ノ價格ヲ最モ適當ナ最モ公平ナ點ニ維持シテ、其實買取引ノ圓滑ヲ圖ッテ、サウシテ産業並ニ經濟ノ上ニ裨益スルデアリマス、隨テ取引所ガ必要デアルト云フコトニ付テハ、本員トモ固ヨリ何等ノ異論ヲ挾ムモノデハゴザイマス、全國ニ散在セル四十餘箇所ノ取引所ガ、立派ニ其本能ヲ發揮致シ美事ニ其機關ヲ活動シ、ソシテアツパレ取引所設立ノ目的ニ向ッテ進ミツ、アルノデゴザイマスナラバ、本員ハ何モ好シマシタ云フト、遺憾ナガラ之ヲ惡用致シマスル者ガ極メテ多イデアル、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、是ガ設立ノ目的ニ背反シテ進シテ居ル次第デアリマス、論ヨリ證據、全國ニ於ケル取引所ノ取引高ヲ見マスルト云フト、何レモ皆増加ノ一方デゴザイマシテ、現狀ノ維持若クハ取引高ノ減少ト申シマスルヤウナ場所殆ド見受ケナイデアリマス、併ナガラ

更ニ一歩ヲ進メテ之ガ實際ノ受渡高ヲ見マスルト云フト、ソレハ總取引高ノ多イノトハ全ク反對デアリマシテ、意外ニモ極メテ僅少ノ額ニ過ギナイデアル、即チ僅ニ百分率ヲ以テ勘定シナケレバナラヌト云フヤウナ狀態デゴザイマス、斯ル事實ガ舉リマスルノハ疑モナク眞面目ナ取引ハ曉天ノ星モ當ナラヌ、反對ニ濡手デ票、一時ヲ僥倖スルト云フ種類ノ取引ガ恰モ暗夜ノ星ノ如クニ澤山デアルト云フコトヲ證明シテ居ルモノト思ヒマス、斯ノ如ク不健全ナ取引ガ盛行ハレマスル結果ハ、相當ノ資産ヲ持テ居リマスル者ガ倒産ノ不幸ニ陥リ、或ハ堅實ナ中流社會ノ者ガ社會ノ下級ニ沈淪致スト云フヤウナ實例ガ決シテ珍ラシクナイデアリマス、斯ル始末ヲ告ゲマスルコトハ、當ニ一身一家ノ不幸デアルノミナラズ、又實ニ一國ノ不幸デアルト信ズルノデゴザイマス、諸君ノ御承知ノ通り政府ハ屢ニ互ニ矛盾セル政策ヲ取ルノデ、是ハ本員ノ頗ル遺憾トスル所デアリマスガ、此取引所ニ付テ見マシテモ、一方ニ於テハ地方ニ青年會ヲ設立サセ、産業組合ヲ獎勵致シ農家ニ對シテハ副業ヲ獎勵致スト云フヤウナ狀態デアリマシテ、一時間デモ二分間デモ能ク働ケ、繩ヲ縛、一錢一厘デモ餘計ニ貯蓄シロト云フヤウナ方針ヲ執ッテ居リマス、是ハ至極結構デアルノハ勿論デアリマスケレドモ、其反對ニ不健全ナル取引ガ盛行ハレマスル結果、一方ニ於テハ一時ニ數萬數十萬ノ金錢ヲ失ヒ、或ハ之ヲ得ルモノガアリマスルタメニ、青年會ノ仕事、或ハ農家ノ副業、是等ノモノハ馬鹿臭クテ出來ナイト云フヤウナ狀況ヲ各地ニ蒔イテ居ルノデアリマス、サウシテ是ガ爲ニ國民ノ思想ガ射利ニ奔リ、正業ヲ厭ヒ、徒食ヲ喜ブト云フモノガ増加スル始末ニナッテ居リマス、是ハ一國ノ風紀上最モ恐レベキ最モ憂フベキ現象デアルト思フノデゴザイマス、サウシテ之ガ爲ニ國民ノ健全ナル思想ヲ喪失サセシメコトハ、決シテ等閑視スルコトハ出來ナイ、實ニ重大ナ國家ノ問題デアルト思フノデアリマス、取引所ヲシテ斯カル狀態ニ陥ラセタコトハ、本員ノ見ル所ヲ以テシマスレバ政府ノ大ナル失敗、結果デアルト申スノニ躊躇致サヌ、サウシテ其結果トシテ現在ノヤウナ惡風ヲ馴致シタデアルト信ズルノデアリマス、ソコデ政府ハ甚シイ弊害ニ陷ッテ居ルコトコロ、此取引所ノ現狀ニ對シテ、果シテ如何ナル所見ヲ懷イテ居ルノデアルカ、又此弊害ヲ認メテ居ルノナラバ、此善後策トシテ如何ナル處置ヲ執ル積リデアルカ、之ニ對シテ政府ノ意見ヲ伺ヒタイノガ、即チ本員ノ第一質問セント欲スル所デアリマス、今一ツ第二ノ質問ガアルノデアル、ソレハ米穀其他ノ取引所ノ營業期間ハ、本年カ若クハ來年ハ滿了スルノデアリマス、之ニ對シテ政府ガ如何ナル方針ヲ取ルノデアルカ之ヲ伺ヒタイノデアル、思フニ最初政府ガ全國ニ數十箇所ト云フ驚クベキ多數ノ取引所ヲ設ケタコトガ、早クモ取引所ニ對スル政策ヲ誤ッタ始メデアリマス、取引所ガ澤山ニアリ過ギタルタメニ、先程申上ゲタヤウナ様々ノ弊害ガ起ツタデアリマスガ、若シモ此數ガ少カッタナラバ、サウシテ米穀其他商品ノ大ナル集散地ニ限リ二三ノ大都會ニ限リ其處ニミ取引所ガアッタ、此處ニ出ナケレバ取引所ノ數コトガ出來惡イト云フヤウナ狀態デアリマシタナラバ、斯カル惡風ニ感染スルモノハ極メテ少ナカッタニ相違ナイト思フノデアル、取引所ガ餘リ澤山ニアリ過ギル爲メニ、至ル所デ取引所ガ一請リ相場ニ手ヲ出シ得ルト云フ現在ノ狀態ニ立至リマシテ、サウシテ種々ノ弊害ト様々ノ惡風ヲ生シマシタガ、取引所ガ多過ギタルタメニハ、此外ニモ尙見通スコト出來ナイトコロノ弊害ガ起ツテ居ルノデアリマス、ソレハ米價ヲ人爲のニ騰貴セシムルコトデアリマス、全體米ノ買占ヲ致シテ其價格ヲ人爲のニ騰貴サセルト申スコトハ、一部ノ人々ガ盛シニ唱道致ストコロデゴザイマスケレドモ、本員ハ米ノ買占ニ依ッテ少數ノ人々ガ米ノ直段ヲ人爲のニ高メラナド、云フコトハ、容易ニ行ハレルモノデナイト信ジテ居ルノデアリマス、併ナガラ各地ニ取引所ガ澤山ニアル結果、到ル所デ、米ノ買占ヲ致スモノガ起ツタ場合ニハ、此米ノ買占ヲ致スモノガ正米ヲ引取ルガ如キ態度ニ出ルノデアリマス、サウシテシマスルト賣方ニ迴ッテ居ル者モ、自衛上米ヲ準備致シテ之ニ對抗スル策ヲ取ラナケレバナラヌト云フコトニナッ

テ參ル、其結果ハ賣方ガ正米ノ準備ヲ致スノデ、從テ米ノ假需用ヲ起スト云フコトニナ
リマシテ、延テ米ノ集散ヲ妨ケ調節ヲ亂スト云フヤウナコトハ、屢見ル所ノ現象デアリマ
ス、是ガ米ノ價格ヲ高メ延テ米價問題ノ聲ヲ高メ、多數ノ國民ヲ苦メルコトニ大ナル關
係ヲ持ツテ居ルト思フノデゴザイマス、翻シテ見マサルニ、初メ米穀取引所ヲ設ケマスル時
分ニハ、現在ト大ニ事情ヲ異ニシテ居マシタ、故ニ多數ノ取引所ヲ拵ヘマシテモ、其當
時ハ格段ノ不都合ガナカッタカモ知レヌノ事實ハ、最初取引所ヲ拵ヘル場合ニハ、政府ガハ
方美人主美ヲ執リ澤山ニ之ヲ許シ過ギタ事實ハアリマス、而モ尙大ナル弊害ヲ
助成スルニ至ラナカッタデアアル、然レニ今ハ運輸交通乃至通信ノ機關ガ非常ニ發達
ヲ致シテ參テ、又一方カラ見マサルト不真面目ナ取引ヲ致シテ、一時ノ僥倖セント望ム
ノガ澤山ニ出來テ參テ、ソレガ爲メニいろ／＼弊害ガ湧イテ參ルヤウニナツタ今日、多
數ノ取引所ト云フモノハ斷シテ不必要デアルト信ズルデアリマス、蓋シ政府ハ取引所問
題ニ付テハ、從來幾多ノ苦イ經驗ヲ持ツテ居ルデアアル、本員ノ知ルところヲ以テシマス
レバ、農商務大臣ガ政變以外ニ於テ更迭ヲ見ナケレバナラヌト云フヤウナコトガアツタ
ハ、單ニ取引所問題ノ場合ニ限ツテ居ルヤウデアアル、又取引所ノ問題ニ付テハ行政裁判
ヲ起サレテ、サウシテ政府ガ敗訴ニ歸シタ場合モ珍シクナイヤウニ思フデアリマス、而モ政
府ハ前回ニ取引所ノ營業期間ガ滿了致シマスル場合、既ニ此數ヲ減スト云フ策ヲ取ラ
ウト試ミタ事實ガアルデアリマス、是ハ本員ナドノ大ニ贊成ヲ致ス所デアリ、取引所ノ數ヲ
減スト云フコトハ理ノ當然、須ラクラナケレバナラヌト、信ジテ居ルデアリマス、ソコ
デ多數ノ取引所ハ不日營業ノ期間ガ滿了致シマスカラシテ、之ヲ良イ幸ヒト致シテ、是
等ノ取引所ヲ減ラセル策ヲ取リ、單ニ必要ナル一二ノ箇所ニ限ツテ、取引所ノ存續ヲ
許シテ然レベキデアルト信ジテ居リマス、之ニ對シテ政府ハ果シテ如何ナル方針ヲ取ラウ
トスルデアルカ、營業ノ期間ガ目下ニ迫リテ居ル今日デアルカラシテ、政府ハ最早
之ニ對スル方針ヲ定メテ居ルコト、信ズル、又是ガ定メテ居ラナケレバナラヌト、信ジテ居
ルデアリマス、而モ斯ノ如キ事柄ハ固ヨリ之ヲ秘密ニ付スル必要ハナイデアリマス、
故ニ本員ハ此際ニ全國ニ於ケル四十餘箇所ノ總テ、取引所ヲ存續サセル見込デア
ルカ、若シ又其數ヲ減スト云フ方針デアラバ、全國ニ何箇所ノ取引所ヲ存置サセル方
針デアルカ、是ガ伺ヒタイデアアル、此場合ニ當ツテ此問題ヲ解決致シタイと思フ者ハ、
當ニ本員ノモ止マラヌデアリマシテ、直接取引所ニ關係ヲ致シテ居リマスル者ハ勿
論、其他ノ者ト申シマシテモ切ニ之ヲ希望シテ居ル次第デアリマス、因テ之ニ對シテ最
モ明確ナル答辯ヲ望ム次第デアリマス（拍手起ル）

○副議長（關直彦君） 次ハ後トニ廻シマシタ質問デ、現内閣ノ施政方針並議員ノ
質問應答ニ關スル質問ハ提出者ノ澤來太郎君ハ居リマセヌヤウデアリマスガ
（延期々々ト呼フ者アリ）
○副議長（關直彦君） 延期致シテ差支アリマセヌカ
（異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ）
○副議長（關直彦君） ツレデハ是ハ此次ノ會議ノ日ニ廻シマス、次ハ日程第一ニ移リ
マス、日程第一遺失物法中改正法律案政府提出、第一讀會ヲ開キマス——期讀ハ
省略致シマス

第一 遺失物法中改正法律案（政府提出貴族院送付） 第一讀會
遺失物法中改正法律案
遺失物法中左ノ通改正ス
第九條中「第十六條」ヲ「拾得物其ノ他本法ノ規定ヲ準用スル物件ヲ橫領シタル」
ニ改ム
第十四條中「一箇年內」ヲ「六箇月內」ニ改ム
第十六條 削除

○內務大臣（原敬君） 此法案ハ殊ニ簡單ナル法律デアリマシテ、遺失物ハ現行法ニ
於テハツレテ拾得致シ、即チ遺失物ヲ拾ヒマシタ者ガ居出テ、一年間保存致シマシテ、
其所有主ノ知レナイ時ニハ更ニ後一年間置イテ拾ヒマシタ者ガ居出ヅル時ニハ之ヲ引
渡スト云フ法律ニテ居リマス、然レニ是ハ今日マデ實驗ニ依リマスルト、遺失者ノ知
レザル後ニ更ニ一箇年期間其儘保管シテ居ルト云フコトハ、甚ダ官廳ニ於テ之ヲ保管
スルニ困難ヲ生ラシメテアリマス、且又拾得シタル者ガ居出ヅルト云フコトモ斯クマデ長イ
期間ヲ要シナイヤウニ實驗上テ居ルカラ、此一箇年ト云フノ六箇月ニ改メヤウト云
フケノコトデアリマス、其他ハ民法刑法トノ改正ニ依テ、自然斯ノ如キ改正ヲ致シタ
ケノコトデアリマス、御審査ノ上御協賛ヲ願ヒマス
（此時副議長關直彦君退席議長大岡育造君著席）
○議長（大岡育造君） 日程第一ニ移リマス

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレコトヲ望ミマス
○議長（大岡育造君） 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルニ御異議アリマセヌカ
（異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ）
○議長（大岡育造君） 御異議ガアリマセヌニ依ツテ、議長指名ノ九名ノ委員ニ付託
スルコトニ決シマシタ、日程第二明治四十四年度豫備金支出ノ件外三件（承諾ヲ求
ムル件）

第三 明治四十四年度特別會計豫備金支出
明治四十四年度豫備金支出ノ件
明治四十四年度豫備金外ニ於テ豫算
超過及豫算外支出ノ件
明治四十四年度特別會計豫備金支出
（承諾ヲ求ムル件）
明治四十四年度特別會計豫備金外ニ
於テ豫算外支出ノ件
（政府委員勝田主計君登壇）
○政府委員（勝田主計君） 第二ノ日程ニ上ツテ居リマス明治四十四年度ニ於ケル
豫算以外ノ支出ニ付テノ事後承諾ノ件デアリマスガ、明治四十四年度ニ於テ第一
豫備金及第二豫備金即チ此三百萬圓ニ付テハ、何レモ已ムヲ得ザルノ經費ニ支出ヲ
致シマシテゴザイマス、尙此豫備金ヲ支出致シマシテ後ノ風水害其他必要已ムヲ得ザル
ノ事件ノ起リマシタガタメニ、國庫剩餘金ト云フモノヲ支出ヲ致シマシタ、其金額ガ約
二百八十八萬餘圓ゴザイマス、次第デアリマス、又御承知ノ清國事件費デアリマス
ガ、此清國事件費ニ對シマシテ、ヤハリ豫算以外ノ支出ヲ要スルト云フコトガアリマス
故ニ、明治四十五年法律第一號ニ依リマシテ、即チ此特別會計ノ繰替ヲ致シマシタ
幣整理資金ヨリ致シマシテ、是ガ八十四萬幾ラト云フモノヲ使用致シマシタ、次第デア
リマス、其他特別會計ニ於テモ亦此豫備金或ハ剩餘金ヲ以テ支出致シマシタモノガ多
少ゴザイマス、是等ノ支出ハ何レモ豫算外ノ支出ヲ致シマシタモノデアリマスガ、要スル
必要缺クベカラザル事柄ノ結果デアリマシテ、其成績ニ至リマシテハ、即チ御手許ニ提出
シタル所ノ狀態デアリマス、冀クハ御審議ノ上御協賛アラントラ偏ニ希望スル次第
デアリマス

○議長（大岡育造君） 日程第四委員ノ選舉ニ移リマス
右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
明治四十四年度豫備金支出ノ件外三件（承諾ヲ求ムル件）

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○松田源治君 本議案ノ議長指名十八名ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス
○議長(大岡育造君) 本議案ノ議長指名十八名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議アリ
マセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガアリマセヌカラ 右ノ如ク決シマス、日程第五及第六
ハ、豫算追加案ナルニヨリ、括シテ議題トナスニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガアリマセヌカラ 日程第五、(第一號)明治四十五年
大正元年歳入歳出總豫算追加案、日程第六(特第一號)明治四十五年大正元
年度各特別會計歳入歳出豫算追加案ヲ一括シテ議題ト致シマス、委員長與繁三郎
君

第五 (第一號)明治四十五年歳入歳出總豫算追加案

第六 (特第一號)明治四十五年年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

〔與繁三郎君登壇〕

○與繁三郎君 諸君、此兩追加案ニ付キマシテハ、昨日豫算委員ノ總會ヲ開キシテ、
別ニ分科會ニ付セズシテ、總會テ充分ナル審查ヲ盡シマシタ結果、全會一致ヲ以テ原
案贊成ニ決定致シマシテゴサイマス、此事ヲ報告致シマス

〔原案贊成ト呼フ者アリ〕

○高木正年君 此陸軍省ノ追加要求ニ對シテ警告致シテ置キタイコトガアリマス
○議長(大岡育造君) 高木正年君

〔高木正年君登壇〕

〔拍手起ル〕

○高木正年君 極メテ簡單ナ警告デゴサイマスルガ、此陸軍省所管ノ追加要求ノ主
ナルモノハ、此糧秣ノ金額ノ不足シマシタメニ此追加要求ヲセラレタデアリマス、此糧
秣ノ中ノ米麥ニ關スル追加要求ハ、陸軍ノ委任經理カラ申シマスレバ、或ハ已ムヲ得ザ
ル要求デアルカモ知レヌデアリマス、併ナガラ其實質ニ入ッテ見マスルト、此金額ヲ要求
スルコト云フコトハ頗ル穩當ヲ缺イテ居ルコト、私ハ思フデアリマス、ソレハ何デアルカト云
フト、從來陸軍ガ糧米ノ要求ニ當リマシテハ、内容ニ於テハ米ノ六分ト麥ノ四分ヲ用井
テ居ル、金額ノ要求ハ米麥ノ差別ヲ設ケズニ、米トシテ要求シテアリマスガタメニ、常ニ此
米ト麥トノ差額ハ所謂委任經理ノ積立金ニナツテ、陸軍ノ各隊ニ存在スルコト云フ事實
ニナツテ居ル、是ハ屢々豫算審議ノ場合ニ問題ニナツタ、何故陸軍ハ米ト麥トノ差別ナシ
テ要求シナイカト云フコトハ、多年ノ是ハ懸案デアツテ、大正二年ヨリ陸軍ハ此議會ノ
希望ニ副ウテ、米ト麥トノ別々ニ要求シテ居リマスケレドモ、大正元年ニ至ッテハヤリ米
ノ要求トシテ事實ニ於テハ其十分ノ四ハ麥ヲ用井テ居ルデアリマス、本年ノ豫算不足
額ハヤリ米ノ價デ、米ヲ積ツテ、米トシテ各隊ニ渡スモノトシテ、不足ヲ要求シテ居ル、其
内容ニ至リマスルト麥ヲ用井タ都合ケル金ハ、ヤハリ各隊ニ餘ッテ居ルコトニナツテ居ル、
委任經理ハ元來物其他ヨリ働キテ始メルト云フコトハ、陸軍當局ガ宣明シテ居ル通り
デアリマス、米ヲ渡シテ餘ッタモノヲ積ム、麥ヲ渡シテ餘ッタモノヲ積ムナラバ、是ハ委任經
理ノ上ニ於テ非難ハナイデアリマス、是モ豫算ガ不足ヲ告ゲザル年ニ於テ、今マデノヤウ
ナコトヲヤツテ居ルナラバ差支ナイデアリマスガ、本年ノ如キ米ノ騰貴シタ場合ニ、其要
求金額ハ即チ此一ツノ追加豫算デモ百四十何万圓トナツテ居ル、陸海軍全體ニ互ッテ

ハ頗ル多額ノ金額ニナツテ居ル、海軍ノ事ハ申シマセヌガ、陸軍ノ一省ニ就テモ多額ノ金
額ニナツテ居ル、此要求ニ數倍スル金額ニナツテ居ルデアリマス、其不足ヲ斯カル年ニ
於テ向米價渡スモノトシテ、麥ニ代ツタル差金ヲ殘ルモノハ殘シテ置イテ、不足ノモノダケ
ヲ要求スルコト云フコトハ、甚ダ委任經理ノ上ニ於テ不親切ナルヤリ方ト言ハネバナラス、
コレ故ニ當リ前ナラバ此豫算ノ上ニ於テ之ヲ削減スルノガ當然デアリマスルガ、直ニ之ヲ
削減スルコト云フコトハ申シマセヌ、陸軍省ガ各隊ニ渡ス上ニ於テ、米ト麥トノ差額ハ豫
算ノ削減シテ、其差引イタ不足デケル各隊ニ渡スト云フコトニナリマスレバ、自ラ其差金ガ
之ヲ減シテ、其差引イタ不足デケル各隊ニ渡スト云フコトニナリマス、本年ノ如キ米價ガ騰貴シテ、單リ政府ノ
國庫ニ還ッテ來ルコトニナリマスルデアリマス、本年ノ如キ米價ガ騰貴シテ、單リ政府ノ
困ルモノナラス、國民總テガ困窮スル場合ニ於テハ、成ルベク斯カルモノニ付テ餘計ナ金
ヲ要求シテ、陸軍ガ取ツテ溜メ置ク必要ハナイデアリマス、此意味ニ於テ私ハ陸軍
省ニ警告シテ、委任經理ノヤリ方ヲ從來惡イモノハ直シテ、總令大正二年ヨリ改正
セラル、モノトシテモ、此要求金額ノ内デ米ト麥トノ差別ナシテ、其餘リハヤハ
リ國庫ニ歸屬セシムルヤウニシタイト斯様ニ考ヘマスガタメニ、此意味ニ於テ陸軍ニ警告
ヲ致シテ置クデアリマス(拍手起ル)

○守屋此助君 吾輩ハ昨日豫算委員會ニ於テ、此海軍省ノ臨時部ニ於テ要求ニ
ナツテ居ル清國事件費ニ關スル經費ノ事ニ付テハ、支那ノ革命騒ギノタメニ日本カラ軍
艦ヲ出シタモノハモウ引揚ケテ宜カラウト思フノニ、尙引續イテ置クト云フ事柄ハ、外務
省ノ關係ヲ斯様相成ツテ居ルコトノヤウニ承リマシタカラ、外務大臣ノ出席ヲ得マシテ、
此事柄ヲ詳カニ豫算委員會ニ問ハントシテ政府ニ要求ヲシマシタガ、政府委員ダケテ外
務大臣ハ昨日ハ出ラレマセナカッタガ、丁度唯今外務大臣ガ御出デニナリマシタカラ、更
メテ御問ヒシマスルガ、此度追加豫算トシテ大正元年年度ノ臨時費ニ於テ、海軍省ノ所
管ニ於テ清國事件ニ要スル經費ト云フノガ一ツ追加豫算ガアリマス、モウ一ツハ特別會
計ノ内ニ於テヤハリ關東都督府ノ特別會計ニ於テ、滿洲ノ行政區域内ニ於テ、是モ亦
支那ノ革命騒ギノタメニ警察官ヲ多分ニ増シタデアルガ、此警察官モ今日唯今ニ至ル
モ、ヤハリ馬込減ズルコトガ出來ナリ、關東都督府ノ所見ニ依ル、今日南滿洲地方ハ
革命騒動ノ時ト同一危險ノ状態ニアル、斯様ナ答辯デアタノテ、ソレ故ニ此追加要
求ヲスルコト云フデアリマスルガ、海軍省ノ方カラノ事ニ付テ、私ガ外務省ニ御問シタイ
ノハ支那ノ革命騒ギハ一年程前ニ、殆ド落著ヲ致シマシタ、艦隊ハ其時ニ出シタノヲ海
軍省ハ殆ド還シテ居ルコトハレマシタ、革命騒ギノアリシ前ニ於テモ豫備トカ警備隊トカ
何トカ云フモノヲ揚子江沿岸ニ置イテ、軍艦ガ始終航行シテ居ルト云フコトハ、是ハモ
ウ私モ知ッテ居ルガ、外務省ハ勿論能ク御承知デアラウト思フ、ソレ以外ニ革命ノタメニ
殖ヤシタモノハ、私ハモウ全然我が海軍ヨリ軍艦ヲ出シテ置ク必要ハナイカニ思フ、其理由
ハ一朝支那ニ事ガアツテ軍艦ヲ出サナケレバナラス時ニナレバ、近キ所ノ旅順ニ日本ノ軍
艦ガアルデアナイカ、佐世保ニ日本ノ軍艦ガアルデアナイカ、ソレカラ南ノ方ヘ往キマス、
臺灣ニ澎湖島ガアルデアナイカ、澎湖島ニ日本ノ海軍ノ碇泊所ガアルデアナイカ、斯様ナ
所ガアレバ一朝事アル事アル日ニ方ツテ其處カラ派遣スレバ宜イ、私ハ平日ニ於テ革命
騒ギニナツタ時ニ出シタモノヲ、全然撤廢ト云フ事柄ハ外務省ノ所管トシテハアラセラル
タラバ、海軍大臣ハ斯様ナ軍艦ヲ出スコトヲ止メラレヤウ、其程度ハ海軍大臣ノ定ム
ルモノニアラスシテ、是ハ追加豫算大臣ガ其程度ハ御定メ相成ルベキモノデアルト思フ、外務
大臣ノ所見如何、之ヲ追加豫算トシテ今後尙引續キ軍艦ヲ出シテ置カネバナラスト云
フノハ、海軍大臣ノ言ハレトコロデアルガ、此點ニ付テ引續イテ出サネバナラスナラ出サ
ネバナラス譯テ、外務大臣ニ明カニ言ウテ貰ヒタイ、澎湖島ニ軍艦ヲ置キ、旅順ニ置キ、
佐世保ニ置キ、鎮海灣ニ軍艦ヲ置ク所ガアルケレドモ、ソレヨリ以上始終備ヘテ置カネ
バナラス、今日ノ支那モ革命騒ギノ當時ノ危險ガアルト認メラレテ居ル、其理由、是デ
ケガ外務大臣ニ向フデノ問デアリマス

○議長(大岡育造君) 牧野外務大臣

(外務大臣男爵牧野伸顯君登壇)

○外務大臣(男爵牧野伸顯君) 守屋君ニ御答致シマス、支那ニ於キマシテ我陸軍ノ兵員及海軍ノ砲艦等ヲ、或ハ増遣シ、或ハ派遣ヲ致シタコトハ申スマデモナク、支那ノ動亂ノ結果ト致シマシテ、我特殊ノ利益其他人命財產ヲ保護スルタメニ出シマシタデアリマス、是ハ單リ帝國ノミナラズ同様に利害ヲ持ッテ居ル國々ヨリモ、同様に手段ヲ取ッテデアリマス、今日ニ至リマシテモ尙多少ノ増減ハアリマスルケレドモ、ヤハリ列國モ同様に態度ヲ執ッテ居ルデアリマス、此陸軍海軍ノ兵員砲艦等ヲ出シテ居リマスルコトハ、無論是ハ支那ノ動亂等ニ伴ヒマシタ事態ニ對シテ、斯ウ云フ特別ナ手段ヲ執ッタデアリマシテ、永久或ハ長ク今ノ儘置カウト云フ趣意デハナイデアリマス、全ク事ニ臨ンデ萬一ノ遺憾ノナイヤウニ、今日ノ狀態ヲ維持スルコトヲ必要ト認メテ居ルデアリマス、併ナガラ今申通リ長ク或ハ永久ノニ斯ウ云フ勢力ヲ特派シテ置カウト云フ意味デハナイデアリマス、此撤兵若クハ引揚ケ等ニ付キマシテハ、陸海軍當局者トモ常ニ能ク意思ノ疏通ヲ圖リマシテ、關係者ノ間ニ少シモ意思ノ疏通ヲ缺クヤウナコトハナク、一致イタシマシテ今日ノ豫算モ要求致シテ居ルヤウナ次第デアリマスルカラ、ドウゾ其意味ヲ能ク御諒承下サツテ、御協算アラント希望致シマス

○守屋此助君 唯今ノ御答デ一向明瞭ニナリマセヌデアリマスルガ、英吉利、獨逸、斯様な國ガ支那ノ南方ニ一時出シマシタ艦隊ノ三分ノ一モ置イテ居ラヌデアアル、サウシテ其國々ハ本國ヨリ彼所マテ軍艦ヲ寄越スニハ、多數ノ時日ヲ要スル、是ニ反シテ日本帝國ハ澎湖島アリ前申上デタ通り旅順アリ、斯様なモノヲ持ッテ居ルデアアルカラ、餘所ノ國トハ例ガ違フデアアル、ダカラ全然革命騒ギノタメニ出シマシタ軍艦ハ一切引揚ケテ、モウ今日唯今ハ宜イ時デアルト思フコト云フガ僕ノ問デアアル、然ルトコロラ是ヲ今其時ニアラズ、尙引續イテ革命騒ギノ時ニ出シマシタ軍艦ヲ、支那ノ各地ニ置カネバナラヌト云フ其譯ヲ聽キタイト云フデアアル、今日唯今之ヲ日本ハニ置カネバナラヌ、旅順澎湖島等ニ軍艦ガアツテ、其處カラ卒ガ有事ノ日ニナツテ支那ニ向ッテ往クコト云フコトヲ待ツコトガ出來ヌ、ソレ程危險ノ狀態ニアルトハ思ハヌ、國費多端ノ時ニアツテハ斯様なモノカラ早ク整理スルト云フ事柄ハ、國ノ政治ヲ整理シ經費ヲ節減スルト云フコトニ熱心ナル内閣諸公ニアラネバナラヌト思フガ、今日置カネバナラヌ譯ヲ聽キタイ(愚問々々)ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 牧野外務大臣

(外務大臣男爵牧野伸顯君登壇)

○外務大臣(男爵牧野伸顯君) 此引揚ノ時期ニ付キマシテ御意見モアリマスルガ、要スルニ帝國政府ニ於キマシテハ目下ハ其引揚ノ時期デナイト云フ意見ヲ有ッテ居ルデアリマス、其點ニ付キマシテハ或ハ意見ノ相違スルトコロカト考ヘルデアリマス、又先頃モ述ベタと思ヒマスガ、支那内地ハ段々秩序ヲ恢復シツ、アリマス、支那ノ當局者ノ盡力等モ大ニ與ッテ居ルコトデアアルト考ヘマス、併ナガラ清國政府ノ承認ト云フ段ニ至ラヌトテ全ク秩序ヲ恢復シ人命財產ノ保障モ出來、其他各國ノ利害ヲ有シテ居ルコトモ遺憾ナク保障セラレルト云フ場合ニハ、必ズ此承認ト云フ問題モ解決セラレルデアラウト考ヘルデアリマス、畢竟スルニ今日ハマダ平常ノ事態デナイト云フコトハ、支那當局者モ認メテ居ルデアラウト存スルデアリマス、ソレデ此時期ニ付キマシテハ遺憾ナガラ見ルコトコトヲ異ニ致ス次第デアリマス

○守屋此助君 ソレデハ南滿洲ノ分ニ付テ問ヒマス、南滿洲ニ於テハ關東都督府ノ見ルトコロデハ、全然革命騒動ノ時ト同一デアアルカラ、兵隊一人殘スコトモ出來ヌト云フノデアアル、海軍ノ方デハ少シ革命ノ時ヨリ軍艦ヲ減シデアリマスルガ、此滿洲ハ革命ノ時ト同一ノ狀態、危險ノ狀態ニアルト云フコトデアアルガ、外務大臣ノ所見モ左様デアアルカト云フコトヲ御問ヒスル

○議長(大岡育造君) 牧野外務大臣

(外務大臣男爵牧野伸顯君登壇)

○外務大臣(男爵牧野伸顯君) 南滿洲及關東都督府ノ管轄内ニ於キマシテ、秩序ノ紊レタコトハ申スマデモナイコトデアリマス、動亂當時ニ於キマシテモ、我警察力ハ決シテ十分デアアルトハ言ヘナカッタデアリマス、何分ニモ非常ナ廣漠タル廣イ範圍ニ互リマシテ、絶ヘズ不意ナ出來事ガアリマシタメニ、其當時ハ寧ロ我警察力ノ不足ヲ感シテ居ラタデアリマス、今日ニ於テモ大體同様に狀況ヲ持續シテ居リマスルカラシテ、唯今ヨリ力減ズルコトハ出來ヌ今日ノ狀況デアリマス

○松田源治君 兩案トモ委員長ノ報告通り可決セラレンコトヲ望ミマス

(贊成々々)ノ聲起ル

○議長(大岡育造君) 委員長ノ報告通り御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ第五第六兩案トモ委員長ノ報告通りニ可決致シマシタ

○松田源治君

此際日程ヲ變更スルノ緊急動議ヲ起シタイノデゴザイマス、ソレハ愛知縣下郡廢置法律案、此場合ニ此法律案委員長ノ報告ヲ聽キ、併セテ議事ヲ進行致シタイト思ヒマス

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君)

御異議ガアリマスカ

○鈴置倉次郎君

日程變更ニ反對デアリマス

○議長(大岡育造君)

討論ヲ用井マセヌ、可否ヲ決シマス、日程變更ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(大岡育造君)

多數依テ日程ハ變更セラレマシタ——三輪市太郎君

愛知縣下郡廢置法律案

(三輪市太郎君登壇)

第一讀會ノ續

○三輪市太郎君 委員會ノ經過及結果ヲ報告致シマス、昨日ハ委員長及理事ノ選舉ヲ了リマシテ、ソレデ散會ヲ致シテ今日再ビ會議ヲ開キマシテ、委員ノ出席者ハ七名デアリマシテ、其餘ニ高木益太郎君ガイロ、此地方ノ事情ヲ知ッテ居ルト云フ御話デ、ソレデ意見ヲ述ベラレルトコトヲ許シマシタ、勿論政府委員モ出頭サレマシテ充分審議ヲ致シマシタ、其海東郡ノ地形ハ東ハ庄内川ノ境トシ、少シ長方形ニナツテ居リマシテ、此面積ハ約八平方里餘デアリマシテ、現在ノ郡役所ノ所在地ハ其郡ノ西端ニアリマシテ、殆ド海西郡ト接近シテ居ル所ニアリマス、又海西郡ノ地形ハ東西ハ誠ニ狹クデアリマシテ、僅ニ二十町乃至三十町幅デアリマシテ、南北ト延長ハ六里餘ノ長イ郡デアリマシテ、殆ド海東郡ヲ包有シテ居ルノ形デアリマシテ、此面積ハ(簡單々々)ト呼フ者アリ)チヨット申上ゲマスルガ、此問題ニ付キマシテ多少其反對議論ヲ有ッテ居ラハ、ヤウナ御方モアリマシテ、餘程説明ヲ致シテ置カヌト何カ其貴族院ニハ誤解サレハシマイカト云フ虞レガアリマスカラシテ、少シク御清聴ヲ願ヒマス(簡單々々)又ハ委員會ノ經過

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ願ヒマス

○三輪市太郎君 經過デゴザイマス、委員會ニ於テ述べタコトデゴザイマス、ソレデ海西郡ハ西ハ木曾川ニ接シマシテ、ソレデ三重縣岐阜縣等デゴザイマシテ、是ガ曩ニ本會ニ上リマシタ當時ニ、他日郡制云々ト云フガアレハドウデアルカト云フ御問モアリマシタカラ、此類末ヲチヨット申シテ置クデアルマス、是ハ他日如何ナル郡ノ廢合等ガアリマシテモ、此海西ナル郡ハ愛知縣西南ニ離レテ居マシテ、境界ハ三重縣岐阜縣及伊勢灣ニ接シテ居リマシテ、如何ナル他日廢合ヲ致スモ何等關係ノナイト云フコトモチヨット申上ゲテ置キマス、ソレカラシマシテ風俗人情、其他交通ノ便等モ(「簡單々々」ト呼フ者アリ)モウ簡單ニ申シマスガ、總テ地價等モ一段歩ノ單價等モ稍、海東海西ノ地價トモ同様デゴザイマシテ、人口段別總テモノガ海東郡ノ數字カラ海西郡ヲ對照シテ見マスルト、約二分一強ニ當ル位ノ海西郡ハ小郡デゴザイマシテ、此二郡ヲ合併致シマシテモ、未ダ愛知縣ノ郡ノ大小ヲ平均シテ多少小サイ方ニ附ケテデゴザイマス、ソレカラシマシテ此問題ヲ、殊更ニ政府ガ急イデ出シタハ如何ニト云フヤウナ御疑念ガアツヤウデゴザイマス、是ハ(「簡單々々」ト呼フ者アリ)ソレデハ申シマセヌ、諸君ガ御容レ下サレバ誠ニ結構デアルカラシテ、好シテ多辯ハ須ヒマセヌ、要スルニ是ハ實際合郡ヲシナイ限りハ、治水問題其他交通等總テノ點ニ地方ハ難儀ヲ致シマスカラシテ、ドウカ宜シク御贊同アラムコトヲ希望シ、又委員會ニ於キマシテハ滿場一致ヲ以テ本案ヲ容レルト云フコトニ決定ヲ致シマシテ(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 鈴置倉次郎君

(鈴置倉次郎君登壇)

○鈴置倉次郎君 此問題ハ頗ル簡單デ僅ニ二行デアリマスルガ、其關係スルトコロハ其地方ノ郡ニ取リマシテハ餘程重大ナ影響ヲ持チマスルノデアリマスカラ、私ハ此地方ノ事情ヲ幾分能ク知テ居リマスル點カラ、事情ヲ述べマシテ、此案ニ反對ノ意見ヲ申述ベマス、今朝委員會ガ開カレマシテ、私モ其委員ノ一人デアリマシタガ、極ク僅ク時間ガ遅レマシタ爲ニ此案ヲ即決サレテ居リマシタ、唯政府委員ガ一人殘ッテ居リマシタカラ、政府委員ニ就キマシテ意見ヲ述べタデアリマス、此案ニ付キマシテハ、唯今ト委員會長三輪市太郎ト云フ方ガ非常ニ極力熱心ナ案デゴザイマシテ、昨日來三輪君ニモ私ハ交渉シタコトモアル(「分ラヌ」又「分ッテ」ト呼フ者アリ)此問題ハ會テ或ル野心家ガ計畫シタコトガアル問題デアリマス(「ノウ」ト呼フ者アリ)此海西郡ト云フノハ比較的小郡デアリマシテ、人口モ二萬餘リ、且ツ衆議院ノ選舉權數カラ申シマシテモ千ニ足リナイノデアリマス、海東郡ト云フノハ比較的大郡デアリマス、依テ此小郡ノ方ノ、即チ海西郡ノ或ル野心家ハ大郡ヲ合シテ自己ノ勢力範圍ヲ擴張セムト企テタコトガアル——是ハ會テデアリマシタ二輪君ニ怒ラレテハ困ル、斯ウ云フ計畫シタコトガアリマシタガ、今日マデ其計畫ガ實行ニナラナカッタコト云フコトハ、イロノ郡ニモ事情ガアリマスノデ、單ニ此問題ハ斯カル理由ノ下ニ遂行ガ出來ナカッタ事情ガアルノデアリマス、三輪君並ニ政府委員等ハ是ハ郡民ノ希望デアアル、政府委員ハ曰ク是ハ決シテ政府カラ進デ出シタノデアリ、希望ヲ容レテ出シタノデアアル、郡ノ希望ヲ容レタノデアアル、今朝政府委員ガ私ニ答ヘラレマシタノハ全クサウデナイ、全ク正反對ノ事實デアリマス、私ハ茲ニ三輪君ノ居住セラル、郡ノ各町村長、各郡會議員、各村會議員等ノ辯明致シマシタ陳情書ヲ持ッテ居リマス、此陳情書ハ何レ活版ニシテ諸君ノ御手許ニ迴スト申シテ居リマシタ、若シ是ガ必要ナレバ此處ニ讀上ゲテモ差支ナイ(眞ッ平)ト呼フ者アリ)數百名ガ連印シテ居リマス、此理由書ニモ民情、地形、經濟、交通、治水等ノ關係ヨリ一郡トナスモ差支ナ

イト申シマスガ、是ガ正反對デ、マルツキリ地形ヲ異ニシテ居ル海西郡ハ低イ所デゴザイマシテ一朝雨デモ降レバイツモ水ニ浸サレル所デアリマシテ、此郡ハ河ガ重モニ交通ノ機關ニナッテ居ル、物貨ノ運搬ハ皆河ニ依ッテヤラレテ居ル、海東郡ハ道路ニ重キヲ置キマシタ多額ノ費用ヲ道路ニ支出シテ居リマス、一方ハ河ヲ主トシテ居リマシテ全ク事情モ違ッテ居ルノデアリマス、若シ斯ル合併ガ必要デアリマスレバ、愛知縣ニハモット是レ以上民情風俗ヲ同ジシテ居ル小サイ郡ノ合併スベキモノガ澤山アルノデアリマス、例ヘバ丹羽葉栗郡ノ如キハ寧ろソレ以上ノ急務ガアルノデアリマス、又實飯並ニ南設樂郡ナドハ是ヨリ以上ノ合併ノ急務ニ迫ッテ居ルト思ヒマス、單リ此案ガ此會期切迫ノ今日ニ提出セラレタト云フコトハ甚ダ怪シムデアアル(拍手起ル)何カ事情ガアリハセヌカト思フデアリマス、政黨大臣ト云フモノハ誠ニ結構ナモノデアリマス、無論國民ノ輿論デアリマスカラ結構デアリマスガ、此結構ナモノハ多少弊害ガ伴フコトガアルノデアリマス、政黨内閣ハ贊成デアリマスケレドモ此弊害ヲ除却スルニ向ッテ注意ヲ拂ハナケレバ、時々ハ斯ウ云フ愚案ガ飛出シテ來ルノデアリマス(「簡單」ト呼フ者アリ)此理由ヲ以テマシテ(「ドコニ理由ガアル」又「反對ノ理由ガチツモ無イ」ト呼フ者アリ)私ハマダ申上ケレバ幾ラモアリマス(御免ダ)ト呼フ者アリ)成ルベク簡單ニ申上ゲウト思ッテ極ク摘デ申上ゲルノデアリマス、詳細ノ理由ヲ御聽キニナルト云フナラバモット申シマス(モウ宜イ)ト呼フ者アリ)是ハ決シテ黨派ノ一觀念ヲ持タズ、此兩郡郡民ニ同情ヲ寄セラレマシテ、公平ナル見地ヲ以テ決セラレンコトヲ望ムノデアリマス、政府ニ於キマシテハ——政府委員ノ言フ所ニ據レバ決シテ通過ヲ固執スルモノデアリヤウニ云ッテ居リマスレバ、勿論唯議會ニ提出スルデ大抵義理ハ濟ムデアリマスルデアリマスカラ、必ズ是ハ通過ヲ強ユルモノデアリト私ハ信ジテ居リマス、餘リ長ク成リマスル所却テ贊成者ノ數ヲ減ズル虞ガアリマスカラ(「勿論々々」ト呼フ者アリ)極ク摘デ申上ゲルノデアリマス、ドウデ此ノ如キ多數ノ郡民ガ反對ノ意見書ヲ提出シテ居ル次第デアリマスカラ、此會期切迫ノ今日ニ於キマシテ、殊ニ委員會速記録スラ配布セラレヌ以前ニ於テ、咄嗟ノ間ニ之ヲ決スルコト甚ダ郡民ニ對シテ不親切ト思ヒマス、他日愛知縣ニハ郡ノ併合ハ必ズ起ッテ來ルト信ジマスカラ、其時ニ充分ニ調査ヲ遂ゲテ實行致シテモ遲カラスト信ジマスカラ、此議會ニ於テハ速ニ否決サレンコトヲ望ミマス、充分ノ調査ヲ要スルコト云フ意味ニ於テ否決サレンコトヲ希望シマス(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 石黒磐君

(石黒磐君登壇)

○石黒磐君 唯今此郡廢合ニ付キマシテ反對ノ意見ヲ鈴置君カラ少シク辯ゼラレマシタガ、私ハ名古屋出身デアアルニ依ッテ郡ノ方ニハ關係ガナイ、ソレ故ニ私ハ公平ノ積リデアリマス(笑聲起ル)大體私ノ生レハ郡ノ近クデアアルカラ能ク承知シテ居ル、ソレデチヨット申置カナケレバナラヌノハ、海東海西ノ兩郡ハ人情風俗ニ至ッテハ差異ガナイ、ソレカラ郡役所ノ位置ナドモ諸君ハ御存ジハナカラウガ、海西郡ノ内デハ海東郡ノ郡役所ノ在ル所ヲ通り越サナケレバ、海西郡ノ郡役所ヘ行ケナイ所ガアル、斯ウ云フ結果ヲ持ッテ居ルノデアアル、ソレ故ニ海西ニ於テモドウシテモ郡役所ヲ一ニシテ津島ト云フ所ニ置キタイト云フ希望デ、是ハ兩郡ノ人ノ希望ニ相違アリマセヌ、水利ノ關係モ道路ノ關係モ多クハサウダ、津島ト云フモノガ海東郡デアッデ海西郡ト直グニ接近シテ居ルカラ、是ガ兩郡ノ中心ニナル斯ウ云フ順序ニナッテ居ル、ソレカラチヨット一應申上ゲテ置クノハ、鈴置君ガ野心ナド、言フタガ、ソレハヤハリ鈴置君ノ方ガ野心ガアル、ト云フノハドウウカト云フト、海西郡ノ一部ニハヤハリ從來ノ國民黨ト云フモノ、一部ガアル(拍手起ル)ソレガ合併セラヌコト選舉ノ時ナドニ不便ガアル(拍手スル者アリ笑聲起ル)是ダケノコトヲ申シテ置キマス(拍手起ル)

○松田源治君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

○議長(大岡育造君) 討論終結ノ動議ニ賛成致シマス「ト呼フ者アリ」

○議長(大岡育造君) 討論終結ノ動議ニ賛成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

○議長(大岡育造君) 討論終結ノ動議ニ賛成ノ方ハ起立ヲ願ヒマス

○議長(大岡育造君) 多敷ト認メマス、討論終結ニ決シマス、即チ本案ニ就テ決ヲ取リマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシト云フ諸君ノ起立ヲ求メマス

○議長(大岡育造君) 多敷ト認メマス

○議長(大岡育造君) 多敷ト認メマス

○議長(大岡育造君) 異議ノ申立ガアリマス、依ッテ今一度反對ノ決ヲ取リマス、本案ニ反對ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

○議長(大岡育造君) 多敷ト認メマス

○議長(大岡育造君) 多敷ト認メマス

○議長(大岡育造君) 多敷ト認メマス

○議長(大岡育造君) 多敷ト認メマス

○議長(大岡育造君) 多敷ト認メマス

○議長(大岡育造君) 多敷ト認メマス

○議長(大岡育造君) 多敷ト認メマス

○議長(大岡育造君) 多敷ト認メマス

○議長(大岡育造君) 多敷ト認メマス

○議長(大岡育造君) 多敷ト認メマス

○議長(大岡育造君) 多敷ト認メマス

○議長(大岡育造君) 多敷ト認メマス

○議長(大岡育造君) 多敷ト認メマス

○議長(大岡育造君) 多敷ト認メマス

○議長(大岡育造君) 多敷ト認メマス

○議長(大岡育造君) 多敷ト認メマス

○議長(大岡育造君) 多敷ト認メマス

○議長(大岡育造君) 投票ノ方法ニ付テ宣告ヲ致シマス、二讀會ヲ開クベシトスルノ諸君ハ白票、二讀會ヲ開クベカラズト云フ諸君ハ青票、反對ハ青、賛成ハ白——點呼ヲ始メマス

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開鎖

佐々木文一君	遠藤三郎君	井深三郎君	樋口喜輔君	廣澤三郎君	田中隆三君	高島茂平君	松田吉三郎君	上田安太郎君	福出五郎君	小出重吉君	土井啓次郎君	中川友一君	白川友一君	光森德治君	友枝梅次郎君	富安保太郎君	三浦覺一君	水間此農夫君	柚木慶二君	志々目藤彦君	岸本賀昌君	木下成太郎君	風間禮助君	清水仁三郎君	古島一雄君	平野龜之助君	柏原文太郎君	奥山寛平君	人見米次郎君	豐福泰造君	金尾稜嚴君	石橋爲之助君	加瀬禮逸君	竹村欽次郎君	小田知周君	中安信三郎君	小田信三郎君	七里清介君	肥塚龍介君	川合直次郎君	加藤政之助君	原脩次郎君
翠川鐵三君	日下義雄君	工藤善太郎君	工藤權之助君	戸狩盛徳君	三浦盛徳君	戸水寛人君	岩田大君	濱本義顯君	恆本隆慶君	申本康三君	渡邊祐策君	一坂俊太郎君	増田穰三君	岡田榮君	岡田典常君	加藤新次郎君	川原茂輔君	濱田政壯君	平田禎君	武満義雄君	高橋直治君	松方幸次郎君	平出喜三郎君	大口喜六君	高木正年君	水野正巳君	相島勘次郎君	青地雄太郎君	中小路興平治君	守屋此助君	村松恆一郎君	大西五一郎君	阿由葉鎗三郎君	田中清文君	高橋金重君	齋藤隆夫君	藏原惟郭君	島田謙吉君	小寺謙吉君	中野貫一君	綾部惣兵衛君	鈴置倉次郎君
岩崎總十郎君	堀切善兵衛君	阿部德三郎君	伊藤祐一君	佐藤信古君	大橋松三郎君	山本七朗君	水津太郎平君	西谷金藏君	島田俊雄君	佐々木仙一君	林永太郎君	川眞田德三郎君	渡邊修君	鶴原定吉君	藏内治郎君	永江純一君	高田露彦君	瀬戸山清彦君	奥田榮之進君	龍田純義君	東武義君	岡田泰藏君	犬養毅君	小西和君	野添宗三君	増田義一君	石田仁太郎君	市川文藏君	伊東知也君	山谷虎三君	大原義剛君	田川大吉郎君	松本恆之助君	橋本太吉君	河野廣中君	福田又一君	松宮軍治君	山宮恆之君	目黒孝平君	矢島八郎君	原眞澄君	
田代進四郎君	吉田定之助君	鈴木水巖君	津島源右衛門君	柳田清兵衛君	熊谷五右衛門君	米田義君	武部共文君	法橋善作君	小川藏次郎君	井上角五郎君	兒玉亮太郎君	坂東勸五郎君	武庫太君	有馬秀雄君	吉原正隆君	元田肇君	江藤哲藏君	飛岡卯一郎君	肥後靜雄君	高嶺朝教君	内山吉太郎君	安田伊左衛門君	高木益太郎君	鈴木梅四郎君	伊藤英一君	田中左司馬君	柴田源左衛門君	吉田圓助君	西村丹治郎君	小泉又次郎君	大竹貫一君	尾崎元次郎君	有田溫三君	大田正己君	榎軍之佐君	木村長君	大森與三郎君	早川鐵治君	川上淳一郎君	大野龜三郎君		

矢島浦太郎君 山田禎三郎君 藤澤幾之輔君 鈴木萬次郎君
鈴木寅彦君 福田善三郎君 井上廣居君 町田忠治君
齋藤宇一郎君 添田飛雄太郎君 眞館貞造君 森田孝吉君
野村嘉六君 奥田柳藏君 高橋久次郎君 石田孝吉君
坂本金彌君 荒川五郎君 山道襄一君 國光五郎君
金子圭介君 阪本彌一郎君 秋田清君 武内作平君
清水隆徳君 片岡直温君 富田幸次郎君 津末良介君
箕浦勝八君 武富時敏君 狩野雄一君 八坂甚八君
山田珠一君 井手三郎君 松村時次君 安達謙藏君
渡邊國重君 淺羽靖君 森田小六郎君 村田虎次郎君
八田裕二郎君 中川虎之助君
○議長(大岡育造君) 投票ノ結果ニ依テ二讀會ヲ開クベシト云フコトニ極リマシタ
○松田源治君 直ニ二讀會ヲ開キ二讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ可決確定セラ
レンコトヲ望ミマス
〔賛成々々〕
○議長(大岡育造君) 御注意申シマス、二讀會ニ於テ修正動議ヲ提出スル通告ガ
アリマスカラ、此場合ハ直ニ二讀會ヲ開クト云フダケニ止メテ貫ヒタイノデス、直ニ二
讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシ〕
○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、因テ直ニ二讀會ヲ開キマス——大口
君
愛知縣下郡廢置法律案 第二讀會
○大口喜六君 私ハ……
○議長(大岡育造君) 登壇ヲ望ミマス
○大口喜六君 私ハ三讀會ニ於テ全部ヲ廢棄シタイト云フ意見デアリマス、ソレニ付
テ意見ヲ述ベタイ
○議長(大岡育造君) 三讀會デスカ
○大口喜六君 三讀會ニ於テ本案全部ヲ廢棄シタイト云フ意見デス
○議長(大岡育造君) 二讀會デス
〔大口喜六君登壇〕
〔拍手起ル〕
○大口喜六君 私ハ本案ニ對シマシテ反對ヲ致シマスルモノデゴザイマスガ、其反對ス
ルトコロ理由ガ少シク先キニ述ベラレマシタ鈴置君ノ意見トハ異ル所ガアリマスルニ因
テ、茲ニ是非トモ其理由ノアル所ヲ明ニシテ、諸君ニ訴ヘ置ク必要ガアル、斯様ニ考ヘ
ルノデアリマス、私ハ此第二讀會ニ於キマシテ本案ノ全部ヲ削除シタイト思フ、斯ウ云フ
修正ヲ出スノデアリマス、ツマリ二讀會ニ於テ出スベキモノデアルト云フ御意見ガアルカ
知レマセヌガ、免ニ角此際理由ヲ明カニシタイト思フノデアリマス、先日日本案ガ此議場ニ
上リマセヌキニ當リマシテ……
○松田源治君 全部削除ト云フコトナラ二讀會デハイケナイ
○大口喜六君 條文ノ全部ヲ削除スルト云フノデアリマス、(笑聲起ル)然ラバ私ハ茲
ニ自分ノ意見ヲ述ベマス爲メニ、附則ヲ修正致スト云フコトヲ申上ゲマス、本條施行ノ

讀マシテアル、此ノ如ク地名ト云フモノハ大切ナルモノデアリマシテ、漫リニ變フベキモノデアリ、是ハ餘程研究ヲ要スル次第デアリマス、其故ニ此等ノ研究ヲ能ク致シマシタ上ニ郡内ガ平和ニ治マツテ、斯ノ如ク記名投票ヲシナケレバナラヌヤウニ騷イデマデモ、此問題ヲ通サナケレバナラヌ必要ハナイ、是非トモ満場一致ヲ以テ快ク通ス時代が大正十年マデニハ參ルコトデアルト私ハ信ズルノデアルガ故ニ、多數ノ諸君、公平ナル我が代議士諸君ハ此事ニ宜ク御賛成下サレマシテ、時期到來ヲ御待チニナルコトヲ偏ニ希望スル次第デアリマス

15-6

所

デア
リマ
マ

讀書會

言二彼是

此問題

ナイノデ

八公平

大多數

セラレテ

調へ

郡合併了

走八知事

致シテ所

ナケレハ

アロホの

シテ此室

議場二松

是ハ

提出シテ

ス

文匯報

殊二星

ナシ、私

云フコト

カニ云フコ、

ヲ開ケテ

下ノ

タリミ

一七九

皇ノ本社ノアル所デ、全國知ラナイ者ガ無イ位アルカラ、此海東海西ノ一番大キナ町ヲ津島町ト云フテ居ルカラ、寧ロ是ハ津島郡トスルノガ適當ト信ジマスカラ、茲ニ此修正案ヲ提出致シマス

○議長(大岡育造君) 決テ採リマス、高木君ヨリ本案ニ反對ガアリマスカラ、高木君ノ修正ヨリ採リタイノデスカ、別ニ贊成ノ聲モ聞ヘマセヌヤウデス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 贊成ガアリマスナラ 高木君ノ修正カラ採リマス、高木益太郎君ノ修正ニ御同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(大岡育造君) 少數、大口君ノ修正ニ御同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(大岡育造君) 修正案ハ總テ少數デ成立致シマス、原案ニ付テ決テ採リマス、二讀會ヲ開クベシト云フニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數

○松田源治君 直チニ二讀會ヲ開キ二讀會ニ於テ可決セル通リ確定セラレコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 別ニ御異議ハ無イヤウニ認メマスカラ 直チニ二讀會ヲ開キマス

愛知縣下郡廢置法律案 第三讀會

(「異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 別ニ御異議モ出マセヌカラ、可決確定ヲ宣告致シマス(拍手起ル)次ハ日程第七、水先法中改正法律案、安藤新太郎君

第七 水先法中改正法律案 井上敏夫君外三名提出) 第一讀會

水先法中改正法律案

第三條第一號ヲ左ノ如ク改ム

一 滿二十五年ニ達セサル者

第十八條ノ二 主務大臣ハ何時ニテモ水先人ノ體格検査ヲ爲シ業務ヲ營ムニ不適當ナリト認ムルトキハ免狀ノ行使ヲ停止又ハ禁止スルコトヲ得

(安藤新太郎君登壇)

○安藤新太郎君 大分時間ガ經テマシタヤウデゴザイマスカラ、諸君ノ御希望ニ副ヒマスルヤウニ極メテ簡單ニ説明ヲ致ス積リテゴザイマス、此案ハ水先法中ノ第三條ノ一號ニ、水先人ノ年齢ガ定メテゴザイマス、之ヲ改正シヤウト云フノガ一ツデゴザイマス、其次ニ十八條ノ二ニ水先人ノ身體検査ヲスルコトヲ 逓信大臣ニセシメル、斯ウ云フ一ツダケノコトデゴザイマス、此年齡ノ制限ニ付キマシテハ、昨年本議會ニ此案ヲ提出シテ、滿堂諸君ノ御賛成ヲ得、而シテ貴族院ニ廻リマシテ貴族院ノ方ニ於キマシテ其目的ヲ達スルコトガ出來ナカッタ案デアリマス、其當時詳細ニ私ガ委員會ニ於テ述べ、政府モ亦意見ヲ述ベラレマシテ、御互ニ攻究ヲ致シマシタ案デアリマス、此六十ノ年齢ヲ取リマスト云フコトハ決シテ水先人ノ老ヒタ者ヲ保護スルコト云フ意味デアリマセズシテ、經驗アル所ノ水先人ヲ得ヤウト云フノ趣旨デアリマス、結局善良ナル所ノ水先人ヲ得ヤ

ウト云フ目的ニ外ナラヌデアリマス、年齢ガ二十三歳トゴザイマスノ二十五年ニ達スト云フコトハ、二十三歳ノ年ニ於キマシテハナカノ、此水先人ドコロデハナイ、船長ニモナルコトガ出來マセヌ、實際ニ遠ザカタル年齡ノ制限デアリマスカラ、之ヲ實際ニ近イヤウニセンガ爲メニ、二十三歳ヲ二十五歳ト改メルノデアリマス、水先人ハ經驗ト云フコトヲ最モ重シマスルガ爲メニ、西洋デハ多ク六十以上ノ人ガ水先人ニ多イデアリマス、日本ノ如キハ六十ノ人間ヲ以テ人間ノ廢物ト致シ居リマス、此水先人ヲ廢物トシテ居ル國ハ、歐羅巴各國亞米利加ニ於テモ何所ニモ斯様ナ法律ハゴザイマセヌ、單リ日本タケニ斯ル法律ヲ制定致シタノデアリマス、此理由ニ付キマシテハ明治三十二年ニ此法律ヲ拵ヘマシテ、年齡ノ制限ヲ六十ト定メマシタコトニ付キマシテハ、イロノ理由ガアルノデアリマス、要スルニ日本人ヲ保護スルノ目的ヲ以テ、此六十ノ制限ヲ設ケタノデアリマス、今日ニ於キマシテハ十二分ニ立法當局ノ目的ヲ達シマシテ、日本人ヲ保護スルコトニ十分ニ相成ッテ居ルノデアリマス、故ニ其結果ハ遺憾ナク現ハレテ居ルノデアリマスカラ、今日之ヲ廢止スルコトハ決シテ不都合デアリマセヌ、又此海上ニ關スル法律ヲ如キハ、日本ノ國ガ段々進シテ參リマスニ從ッテ、努メテ世界一般ノ法律ニシナケレバナラヌデアリマス、領國ノ法律ハ此海上ニ關スル所ノ法律ト致シマシテ、今日ニ於テ甚ダ面白クアリマセヌ、國ノ進運ニ伴ヒマシテ、此世界一般ノニスルト云フノ趣旨ニ依テ、此世界ニ例ノ無イトコロ、此六十ノ人間ヲ取ラウト云フノデアリマス、サル代リニ十八條、第二ニ於テ逓信大臣ハ何時ニテモ水先人ノ身體検査ヲ爲シ、其業務ヲ營ムニ不適當ト認ムルトキハ水先人ノ免狀ノ行使ヲ禁止シ又ハ停止スルコトガ出來ル、是ハ若イ者必ズシモ身體ガ壯健ト云フ譯デアリマセヌ、老人必ズシモ羸弱ト云フ譯デアリマセヌ、故ニ逓信大臣ハ必要ニ應ジテ何時ニテモ此者ハ體格ガ少シ惡クナッタ、健康ヲ損フタト云フコトヲ認ムル場合ニハ、逓信大臣ハ何時ニテモ其體格検査ヲ爲スコトヲ得、此箇條ヲ設ケテ置クコトハ頗ル安全ナルコト、思フノデアリマス、現行法ニ於キマシテハ水先人ノ方カラ私ハ身體ガ惡クナリマシタカラト云ッテ、自分ガ上申シテ罷メルノ規定ハゴザイマセヌ、逓信大臣ガ何時ニテモ此水先人ノ體格ヲ検査スルコト云フ規定ガ一ツモアリマセヌ、是ハ甚ダ不安心ナコトデアリマスカラ、此度ハ之ヲ改メテ逓信大臣ガ此者ハ危險ナリト認ムル場合ニハ、何時ニテモ其業務ヲ停止スルコトガ出來ル、斯様ナ條文ヲ一ツ附加ヘタノデアリマス、尙詳シイコトハ委員會ニ於テ申上ゲルコトニ致シマス、滿堂ノ諸君、何卒御賛成下サラシコトヲ希望致シマス

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員會ニ付託セラレコトヲ望ミマス

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ハ議長指名九名ノ委員會ニ付託スルコトニ決シマス、日程第八、民事訴訟法施行條例中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者岩崎勳君

第八 民事訴訟法施行條例中改正法律案(岩崎勳君 第一讀會 外三名提出)

民事訴訟法施行條例中改正法律案

第十二條 削除

附則

本法ハ大正二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
本法ハ本法施行ノ際現ニ繫屬中ノ事件ニモ亦之ヲ適用ス

(岩崎勳君登壇)

○岩崎勳君 簡單ニ民事訴訟法施行條例中改正法律案提出ノ理由ヲ述ベマス、現
行法ニ依リマスル民事ノ上告ニ付キマシテハ、保證金十圓ヲ納入スベシト云フコトニ
ナッテ居リマス、而シテ上告ガ立チマシテ場合ニハ、是ハ返シテ寄越シマスケレドモ、上告
ガ立チマセヌ場合ニハ沒收スルコト云フコトニナッテ居リマス、斯ノ如キ規定ハ民事訴訟
及ビ刑事ノ上告ニモナリ規定アリマシテ、獨リ民事ノ上告ニモ此規定ノ存シテ居ル理
由ハナインゴザイマス、加フルニ既ニ規定ノ印紙ヲ貼用シテ居リマス上ニ、更ニ十圓ヲ
沒收スルコト云フヤウナコトハ他ノ法律ノ上カラモ一向權衡ノ取レテ居ラス規定アリマス
カラ、之ヲ削除シタイト云フ案ゴザイマス、而シテ之ヲ削除シタカラト云ッテ、政府ノ收
入ノ減ズル額ガ年額僅カニ五千圓内外デアリマス、本年ハ多分政府ニ於テモ御賛成
下サルコト、信ジマシテ、之ヲ提出致シマシテ譯デゴザイマス、何卒滿場諸君ノ御賛成ヲ
願ヒマス

○松田源治君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

(贊成々々「ト呼フ者アリ」)

○議長(大岡育造君) 直チニ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス

民事訴訟法施行條例中改正法律案

第二讀會

○松田源治君 本案ニ修正ガアリマス、ソレハ附則ノ末項デゴザイマスガ「本法ハ本法
施行ノ際現ニ繫屬中ノ事件ニモ亦之ヲ適用ス」之ヲ斯様ニ修正致シタイト思ヒマス、
「本法ハ施行前提起シタル上告ニ付テハ尙從前ノ例ニ依ル」是ハ原案ノ如クスレバ既往
ニ溯テ效力ヲ有スルコトニナルカラ不都合デアラウト思ヒマシタノデ、施行前ニ提起シタ
ル上告ハ尙從前ノ例ニ依ルト云フヤウニ修正致シタイト思ヒマス

(贊成々々「ト呼フ者アリ」)

○岩崎勳君 修正案ニ同意ヲ表シマス

(政府委員法學博士小山溫君登壇)

○政府委員(法學博士小山溫君) 民事訴訟法施行條例中改正法律案ニ付テ政
府ノ意見ヲ述ベヤウト思ヒマス、本案ニハ大體贊成デアリマシテ、唯此原案通リニスル
湖ルコトニナッテ、執行上困難ヲ感ジマス、今松田君ヨリ御提出ニナリマシタ修正通リニ
ナレバ、四月一日ヨリノ上告ノ適用ニナルヤウナ事ニナル、全然贊成ヲ致シマス

(修正贊成「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 修正ニ贊成ガアリ政府モ同意ヲ表シテ居リマス、直チニ決ヲ採
リマス、本案ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數

○松田源治君 原案ハ消滅シタ譯ニナルノデスナ、直ニ二讀會ヲ開イテ二讀會修正ノ
通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

(贊成「ト呼フ者アリ」)

○議長(大岡育造君) 直ニ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ハナシト認メマス、直ニ二讀會ヲ開キマス

民事訴訟法施行條例中改正法律案

第三讀會

○議長(大岡育造君) 二讀會修正ノ通りニ可決スルニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、依テ本案ハ二讀會修正ノ通り可決
確定致シマシタ、日程第九、國有土地森林原野下戻法中改正法律案ノ第一讀會ヲ
開キマス、提出者岡田泰藏君

第九 國有土地森林原野下戻法中改正法律案(岡田 第一讀會
泰藏君外一名提出)

國有土地森林原野下戻法中改正法律案

第一條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ土地森林原野ニ於テ主產物ヲ採收シタル者ハ所有ノ事實アリタル
モノト見做ス但シ他ニ所有者アリト認ムヘキ證據アルモノハ此ノ限ニ在
ラス

第一條第二項中「前項」ヲ「前二項」ニ改ム

第二條第四號中「分收」ヲ「收得」ニ改ム

(岡田泰藏君登壇)

○岡田泰藏君 此案ハ昨年同一ノモノヲ提出致シマシテ、衆議院ヲ通過シテ貴族院
ニ至ッテデゴザイマスガ、衆議院ノ通過通リ參リマセシメテ、更ニ本年提出スルニ至
リマシタ次第デアリマス、擬此案ハ國有土地森林原野下戻法ノ第一條第一項ノ次ニ
「前項ノ土地森林原野ニ於テ主產物ヲ採收シタル者ハ所有ノ事實アリタルモノト見做ス
但シ他ニ所有者アリト認ムヘキ證據アルモノハ此ノ限ニ在ラス」ト追加修正ガ主ナル改正
ノ要項デゴザイマシテ、此意味ハ土地ヲ所有シマスル主要ノ目的ハ、之ヲ使用シテ收益ヲ
得ルト云フコトニ在ルノデゴザイマスルカラ、此事實ガ明白ニ認メラル以上ハ、所有者
タル推定ヲ與ヘルコトハ、法理上當然ノ道理デアリマス、行政裁判所ノ判決ノ多クニ
依リマスルコト、此場合ヲ全ク無視致シマシテ、使用收益ノ事實ハ監理ノ場合モ有リ得ベ
キモノナリトシテ、所有ノ事實ニ付テ使用收益ノ存在スル場合ノアルコトヲ無視シ、而シ
テ反對ノ裁判ヲ下シテ居リマスルヤウナ次第デ、此見解ノ誤リヲ此改正ニ依ッテ正シマシ
タナラバ、今後行政裁判所ノ誤謬ノ先例ヲ打破リ、公正ナル裁判ヲ見ルコトガ出來ル
デ、少クモ法律家ノ立場ニ於テ此改正ノ主張ヲ捨ツル能ハザル必要ノ改正ナルコトヲ信
ズル次第デアリマス、然ルニ昨年貴族院ニ於キマシテ此案ニ對シテ附シマシタ意見ハ、要
言スレバ其理由ハ敢テ非難スルマデノ考ハナイガ、是マデノ處分サレタルモノト一致セザ
ル結果ヲ生ジ、困ルト云フ反對デアッタノデアリマシタ、併ナガラツレハ別ノ問題デアリ又
理由ニハナッテ居リマセヌ、依テ此改正ハ如何ニシテモ必要ニシテ道理アリト云フ考ヲ有
テ居リマスル、幸ニ御賛成ヲ願フ次第デアリマス

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決定シマシタ、日程第十、産牛馬組合法改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長廣澤辨二君

第十二 産牛馬組合法改正法律案(廣澤辨二君外一名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○廣澤辨二君 登壇

○廣澤辨二君 時間ガ迫ッテ居リマスルヤウデスカラ、極メテ簡單ニ御報告申上ゲマス、本案ニ付キマシテハ委員會ニ於テ數回慎重ナル審議ヲ盡シマシタ結果、滿場一致テ可決ヲ致シマシタ、但チヨット申上ゲテ置キマスガ、本案ニ付テハ政府ハ凡ソ同様ノ必要ヲ認メテ居ル、即チ早晚改正スルノ必要ヲ認メテ居ルガ、マダ調査中デアッテ成案ガ無イカラ、之ヲ延期セヌカト云フ話モアリマシタガ、委員會ハ何時成案ヲ提出ニナルカラ豫知スルコトモ出來ズ、先ヅ目下ノトコロニ於テハ此案ハ極メテ必要ト致シマシテ、可決致シマシタ次第デゴザイマス、此段御報告申シマス

○松田源治君 本案ハ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ可決確定セラレンコトヲ希望シマス

(贊成々々「ト呼フ者アリ」)

第二讀會(確定議)

○議長(大岡育造君) 松田源治君ノ動議ニハ反對ハ無イヤウニ思ヒマス、依テ松田君動議ノ通りニ二讀會ヲ省略シ二讀會ニ於テ直チニ可決確定ヲ宣告致シマス

○早速整爾君 定則數ヲ缺イテハ居リマセヌカ

○議長(大岡育造君) マダアルト認メマス、日程第十一、土地收用法中改正法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス、武市庫太君

第十一 土地收用法中改正法律案(武市庫太君外三名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○武市庫太君 登壇

○武市庫太君 御報告ヲ申シマス、本案ハ修正説ガ出マシテ、修正ニハ政府モ同意シ、又出席議員モ皆同意サレマシテ諸君ノ御手許ニ配布シテアリマス如キ、修正案ニ決議シマシタ、即チ滿場一致テ可決致シマシタ、ドウカ讀會省略デ直チニ本會ニ於テ可決アランコトヲ希望シマス

○松田源治君 直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ可決確定セラレンコトヲ希望シマス

(異議ナシ異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(大岡育造君) 松田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

土地收用法中改正法律案 第二讀會(確定議)

○議長(大岡育造君) 御異議ガアリマセヌカニ依テ、直チニ二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略シテ可決確定シタルコトヲ報告致シマス、日程第十二ハ提出者ヨリ延期ノ申出ガアリマス、許可スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナイト認メテ之ヲ許可シマス、日程第十三、鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者ハ渡邊修君

第十三 鐵道速成ニ關スル建議案(渡邊修君外二名提出)

鐵道速成ニ關スル建議案

香川縣下多度津ヨリ愛媛縣下今治ヲ經テ松山ニ至ル鐵道ハ豫讀連絡線ニシテ四國中最樞要ノ線路ニ屬シ本院ハ已ニ數回本鐵道速成ニ關スル建議ヲ爲シ政府ニ於テモ極メテ有利有望ノモノト斷定シ多度津川之江間ノ建設ニ著手セルモ川之江ヨリ今治ヲ經テ松山ニ至ル六十九哩餘ヲ殘留シ之ヲ中斷セルカ爲最良線路ノ效用ヲシテ完カラシメス頗ル遺憾トスル所ナリ而モ此ノ間ニ要スル建設費ハ他ノ豫定線路ニ比シ遙ニ低廉ナルヲ以テ政府ハ速ニ之ヲ豫算ニ計上シ議會ニ提案セラレムコトヲ望ム

右建議ス

(渡邊修君登壇)

○渡邊修君 諸君本案ハ數回本院ヲ通過致シマシタ建議案デアリマスカラ、別ニ説明ノ必要ハナイト考ヘマス、唯一言諸君ノ御記憶ヲ喚起ス爲ニ附加ヘテ置キマス、此線路ハ最モ經濟的デアッテ、經費等ニ於キマシテモ他ノ線路ニ比シマシテハ餘程少ナクテ済ムデアリマス、故ニ昨年此線路ノ中ノ多度津カラ川之江ニ至リマスルマデノ間ヲ豫算ニ計上致シマシテ、今日著手シテ居ルノデアリマス、併ナガラソレダケハ甚ダ鐵道ノ效用ガ薄イノデアリマスカラ、是ハヤハリ豫定線ニアリマス如ク、松山マデ延長シテ、此線路ヲ速ニ建設シテ貫ヒタイト云フ趣意ニ外ナラヌノデアリマス、是ハ四國ノ鐵道デアリマスカラ、局部的ノヤウニ御考ノ御方モアリマセウガ、極メテ重大ノ線路デアリマシテ、九州及中國トノ關係モ餘程長クナルノデアリマスカラシテ、何卒御贊成ヲ願ヒマス、殊ニ是ハ民設デヤリタイト云ッテ既ニ計畫ヲシテ出願シタ者モアルノデアリマス、所ガ政府デヤルカラト云ッテ民業ニ許サナイ、民業ニモ許サズ政府モ建設シナイト云フコトハ甚ダ無理デアラウト思ヒマスカラ、ドウカ速ニ政府デ建設ヲ致シマスヤウニ御贊成ヲ願ヒタイノデアリマス

○松田源治君 本案ハ議長指名、十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ希望シマス

○議長(大岡育造君) 松田源治君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナイト認メマス、依テ本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第十四、鐵道建設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者川原茂輔君

第十四 鐵道建設ニ關スル建議案(川原茂輔君外八名提出)

鐵道建設ニ關スル建議案

一 熊本縣下八代ヨリ分岐シ水俣ヲ經テ鹿兒島縣下川内ニ至ル鐵道

一 宮崎縣下宮崎ヨリ延岡ヲ經テ大分縣下佐伯町ニ至ル鐵道

一 大分縣下犬飼ヨリ熊本縣下宮地ニ至ル鐵道

一 福岡縣下吉塚ヨリ分岐シ佐賀縣下唐津、伊万里、長崎縣下田平ヲ經テ佐世保ニ接續スル鐵道

一福岡縣下久留米ヨリ日田、以殊ヲ經テ大分縣下大分ニ至ル鐵道
右鐵道ハ産業ノ發展ニ資シ交通ノ不備ヲ補フカ爲急設ヲ要スルモノト認ムルヲ以テ
政府ハ速ニ調査ヲ遂ケ相當ノ措置ヲ採リ建設ニ著手アラシコトヲ望ム
右建議ス

〔川原茂輔君登壇〕

○川原茂輔君 此建議案ハ單リ本年ノミナラズ、同ジコトヲ九州ノ吾々同志者ハ最早
五六回同ジ事ヲ此議場ニ於テ建議スルノデアリマス、而シテ何時モ滿場一致ノ御贊成
ヲ得マシテ、其中ニ政府ニ於テモ段々必要トセラレテ、第一ニ掲ゲタル八代ヨリ分岐シ
テ鹿兒島縣下川内ニ至ル鐵道ハ、鹿兒島ノ市ヨリ川内迄ハ將ニ運轉ヲ開始セントスル
ノ場合ニ進シテデアリマス、ソコデラ肥後ノ八代ト薩摩ノ海岸線ト通シナケレバ、鐵
道ノ效果ヲ完ウシマセヌカラ、即チ數年來ノ希望ヲ繼續シテ貫徹シテ貫ヒタイト云フノ
意思デアリマス、次ニ宮崎縣下宮崎ヨリ延岡ヲ經テ大分縣下佐伯ニ至ル鐵道、是モ初
メハ長大長イノデアリマシタガ、吉松ヨリ分岐シテ都ノ城ヲ經テ宮崎縣下宮崎ニ至ル鐵
道ハ今著手中デ、是モ追々運轉ノ場合ニ至リマス、大分縣ノ方カラハ佐伯迄モ段々
著手シ居リマスカラ、是モ九州ノ南方ヲ貫徹セザレバ則チ日向大隅等ノ開發——物產
ノ開發ト云フコトハ出來マセヌカラ、當初ノ目通リヤツテ戴キタイト云フ意味デアリマ
ス、其次ハ大分縣下大分ヨリ熊本縣下宮地ニ至ル鐵道、是ハ初メ建議ヲ致シマシタノ
ハ、即チ熊本ヨリ大分ニ至ルノデアリマシタガ、此大正二年度ノ豫算ニ於テ輕便鐵道ト
シテ雙方ヨリ少シシ、ヤルト云フコトニナリマシタカラ、其殘リノ所モ引續キヤツテ戴キタイ
斯ウ云フ考デアリマス、其次ハ福岡縣下吉塚ヨリ分岐シテ佐賀縣下唐津、伊万里、長
崎縣下、田平ヲ經テ佐世保ニ接續スルノ鐵道、是ハ未ダ同ジ事ヲ五回モ六回モ建議シ
マスケレドモ、一向ニ政府ニ於テ著手シテ與レナイト云フ譯デアリマス、此鐵道ニ於テ
ハイロ／＼因縁ガアリマスケレドモ、之ヲ御話申セバ隨分長クナリマスカラ申シマセヌガ、
昨年ノ此議場ニ於テ風景ニ於テアハ日本一ガ幾ツテモアリマスト云フコトヲ諸君ニ御紹介
シテ置イタヤウナ必要ノ鐵道デアリマス、是ハ軍事上ノ事ヲ一ツ申上ゲテ置キマスガ、佐
世保鎮守府ニ向ッテ万一事有ル場合ニ於テ、小倉ノ十二師團福岡ノ二十三旅團ノ
兵ヲ佐世保ニ送ラントスルニハ、此線ニ依ルガ最モ輕便最モ近クナルノデアリマス、即チ
軍事上ノ必要ト云ヘバ此一點蓋シ十分カト思フノデアリマス、ソレカラ福岡縣下久留
米ヨリ日田ヲ經テ大分縣下大分ニ至ル鐵道、是ハ鐵道網ノ豫定線ニハナッテ居リマスノ
デ、建議ヲ致シマスルノハ本年ガ初メテデゴザイマスカラ、是モ第一軍事上ノ必要ヨリ少
シク申上ゲテ置キマスガ、豐後ノ水道方面ニ當ッテ事有ル場合、久留米ノ十八師團ノ兵
ヲ此豐後水道方面ニ送ルト云フコトニ於テハ、此鐵道ガ貫徹セザレバ十分ノ效果ヲ收メ
ルコトガ出來ナイト云フ必要ナル線路デアリマス、ソレカラ久留米、熊本、鹿兒島等ノ方
面ヨリ門司ヲ經由シテ大阪東京ニ赴クト云フコト、大分ヨリ船ニ乘ッテ大阪ニ行ッテ目
的地ニ達スルコト、シマシタナラバ、餘程此鐵道ガ貫徹シマスレバ近クナリ、且ツ便利ニナ
リ、從ッテ産業ノ發展等ニ利便ヲ資スルコトハ勿論ノコトアル、斯フ云フ便利モアルノデ
アリマス、ソレカラ頼山陽ヲ以テ天下ニ紹介シタ彼ノ耶馬溪ノ附近ヲ通行シテ行クト云
フ、是亦風景ニ於テ最モ富シク所デアリマス、旁々軍事上產業上必要デゴザイマスカラ、
相變ラズ御贊成下サツテ、政府ハ即チ此必要ナル線路ヨリ著々實行サレンコトヲ希望ス
ルト云フコトデゴザイマス

○松田源治君 本案ハ前ノ日程、即チ十三ノ日程同一ノ委員ニ付託セラレンコトヲ
望ミマス

〔贊成〕下呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 別段異議ガアリマセヌカラ、本案ハ前ノ日程、即チ鐵道速成
ニ關スル建議案ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ

○紫安新九郎君 定數ヲ缺イテ居ルモノト認メマス

○議長(大岡育造君) マダ定數ハアルヤウニ此方デハ認メマス、日程第十五、信濃川
改修工事年限短縮ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者佐野喜平太君

第十五 信濃川改修工事年限短縮ニ關スル建議案(佐野喜平太君外四名提出)

信濃川改修工事年限短縮ニ關スル建議案

信濃川改修工事年限短縮ニ關スル建議案

信濃川改修事業ハ現下大河津分水工事進行中ニ在リト雖比年洪水氾濫被害ノ區域
ノ區域益擴大スルノ情況ニ鑑ミ急速之カ竣成ヲ謀ルノ必要アリト認ム依リテ政府ハ
適當ノ方法ヲ立テ更ニ工事年限ヲ短縮シ速ニ目的ヲ完成セムコトヲ望ム
右建議ス

〔佐野喜平太君登壇〕

○佐野喜平太君 本案提出者ノ一ハト致シマシテ、聊カ其理由ヲ述ベマス、信濃川
改修事業ハ現下大河津分水工事進行中ニ在リト雖モ、比年洪水氾濫被害ノ區域
益擴大スルノ情況ニ鑑ミ、急速之カ竣成ヲ謀ルノ必要アリト認ム、依リテ政府ハ適當
ノ方法ヲ立テ、更ニ工事年限ヲ短縮シ、速ニ目的ヲ完成セムコトヲ望ム、文章ニ書キマ
スルト斯ウナリマス、私ハ言葉デ今ノ理由ヲ繰返シマシテモ餘リ冗長ニナッテ却テ諸君ノ倦
厭ヲ來ス恐レガアル、故ニ文章ヲ以テ理由ノ言葉ニ代ヘテ置キマス、尙一言附加ヘテ簡
單ニ申シマスガ、先キニ若杉君ヨリ提出說明致シマシタ所ノ新潟築港速成ニ關スル建
議案ノ一部分ニハ、本案ガ關係ヲ持ッテ居ル問題デアリマス故ニ、慎重御審議ノ上、
願クハ御贊成アラシコトヲ切ニ希望致シマス

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議ナキヲ
以テ、其如ク決シマス、日程第十六、信濃川改修工事年限短縮ニ關スル建議案、提出者西村丹
治郎君

第十六 信濃川改修工事年限短縮ニ關スル建議案(西村丹治郎君外一名提出)

信濃川改修工事年限短縮ニ關スル建議案

信濃川改修工事年限短縮ニ關スル建議案

四面環海ノ我カ帝國ハ米亞大陸ノ間ニ介在シ東洋貿易ノ中心トシテ眞ニ要衝ノ地
位ヲ占メ船舶出入ノ數、百貨集散ノ額ハ年々俱ニ多大ノ増加ヲ示シ其ノ趨勢ハ世
界通商貿易ノ發達ニ隨伴シテ窮極スル所ナク帝國貿易ノ盛衰通商ノ消長ハ一ニ
係リテ港灣設備ノ良否ニ在リ

然ルニ帝國港灣ノ設備ハ規模狹小ニシテ且天工ノ形勝ヲ恃ム而已ニシテ未ダ人事
ノ最善ヲ盡ササルノミナラス現ニ帝國首要ノ國港ナル橫濱、神戸兩港ノ如キスラ其ノ
所管ハ內務大藏遞信及其ノ所在地方廳ニ分屬シテ全責任ノ歸一スル主管廳ナク
偶港灣調査會アリト雖執行機關ニ非ス單ニ調査機關ニ止マリ責任ノ歸一スル所ナ

ク從テ港灣ノ政務舉ラス國運ノ發展ヲ阻害スルコト鮮ナラス
今ヤ巴奈馬運河ハ近ク明年ヲ以テ開通セムトシ大船巨舶ノ本邦ニ輻輳スルモノ期
年ナラスシテ倍加セムトスル此ノ時ニ當リ港灣政務ヲ統一シ其ノ施設經營ヲ爲スハ
帝國ノ國力發展上緊急ノ要務ナリ既ニ鐵道ニハ鐵道院アリテ之ヲ統一シ經營進行
シ船舶ニハ遞信省アリテ之ヲ統一シ保護獎勵スルニ非スヤ故ニ斯ノ鐵道ト斯ノ船舶
ヲ聯絡スル港灣ニモ速ニ全責任ヲ有スル主管衙ヲ定メ帝國港灣政務ヲ統一スルコ
ト鐵道ニ鐵道院、船舶ニ遞信省アル如クセラレムコトヲ望ム
右建議ス

(西村丹治郎君登壇)

○西村丹治郎君 港灣政務統一ニ關スル建議案提出ノ理由ヲ極ク簡單ニ辯シタイ
ト思ヒマス、御承知ノ通り我國ノ如キ位置ニ於キマシテハ、先ツ何ヨリモ港灣ノ改良、港
灣ノ修築ト云フコトハ最モ必要ナコトデアラウト思フ、殊ニ明後年ニ至リマスル例ノ巴
奈馬運河モ開通スルコト云フコトナリマス、之ニ對シテ果シテ當局者ハ此東洋ノ航運界
ニ一大變化ヲ及ボサントスル巴奈馬運河開通ニ對シテ、ドンナ計畫ヲ今爲サレツ、アル
ノデアルカ、本員ハ殆ド其何ヲ爲サレツ、アルカト云フコトヲ見出し得ナイノヲ遺憾トスル
者デアリマス、殆ド今日ニ於テ港灣ニ對シマシテハ何等ノ計畫ト云フモノハナイノデア
ル、殊ニ巴奈馬運河開通ニ對シテ、此航運界ニ一大變化ヲ呈セムトシテ居ル此目下焦眉
ノ問題ニ對シテ、何等ノ計畫モ施設モナイノデアリマス(簡單々々ト呼フ者アリ)唯私
思ヒマスルノニ此巴奈馬運河ノ開通ニ對シテ、海軍ノ當局者ハ夙ニ今ヨリ數年以前ヨ
リ致シマシテ、巴奈馬運河開通ノ曉ニ取ルベキコトヲ政策ヲ取ツテ居ラレマス、即チ彼
ノ軍事經營ノ如キ、既ニ委員會ニ於テモ辯明サレテ居リマス通り、三億五千萬圓ト云
フ大金ヲ投シテ、海軍擴張ノ計畫ニ既ニ著手セラレムトシテ居ルノハ何デアルカト言
ハ、此巴奈馬運河開通ニ對スル計畫ト言フテモ、差支ナイト思フ、然ルニ經濟方面ニ於
テハ何等ノ計畫モアリマセス、私ハ尙之ニ向テ充分ノ説明ヲ與ヘタイト思ヒマスケレドモ
ガ、既ニ簡單ト云フ言葉ガアリマスカラサウ長クハ申シマセス、モウ二三言デ盡シタイノデア
リマス、何故ニ斯ク經濟方面ニ對スル港灣ノ改良港灣ノ修築ト云フコトガ、目下ノ如キ
憫レ果敢ナキ有様デアルカト申シマスレバ、詰リ此港灣ニ對スル行政港灣ニ對スル政務
ト云フモノガ、イロノノ方面ニ分タレテ居ルカラデアラウト思フ、即チ港灣ニ對スル政
務、ツレカラ港灣ニ對スル事務、運輸ニ對スル事務、此三ツノ事務ト云フモノガ三省ニ
分タレテ居ル、即チ或一部ハ內務省、或一部ハ大藏省、或一部ハ遞信省ト云フガ如ク
三箇所ニ分タレテ、此一ツノ港灣ト云フモノガ今日支配サレテ居ルノデアリマス、是ガ私
ハ港灣ニ對スル根本政策ヲ定メ能ハザルノ病源デアラウト思フノデアル、ツレ故ニ是等ハ
統一シテ一ツノ大機關ヲ設ケテ、恰モ鐵道ニ對スル鐵道院ノ如ク、若クハ船舶ニ對
スル遞信省ノ如ク、免モ角港灣ヲ統一シテ、一ノ大ナル機關ヲ以テ此根本的ノ施設經
營ヲナスト云フコトハ目下ノ急デアラウト考ヘマス、故ニ是非トモ一ノ大ナル機關ヲ設
ケテ、速ニ此世界ノ航運界ニ對シテ一大變化ヲ及ボサントスル巴奈馬運河ノ開通ニ對ス
ル準備ヲ速ニ願ヒタイト云フ意味ニ於テ、此案ヲ提出シタノデゴザイマス、ドウカ御贊成
ヲ願ヒマス

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ望ミマス
(贊成ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルニ御異議ナイト認メ
マス、依テ其如ク決シマシタ、日程十七、鐵道建設ニ關スル建議案、提出者根本正君

第十七 鐵道建設ニ關スル建議案

鐵道建設ニ關スル建議案

一茨城縣下水戸ヨリ分岐シ福島縣下水戸及郡山方面ニ接續スル鐵道
右ハ產業ノ發達交通ノ不備ヲ補フ爲ニ必要ニシテ且奥羽線及岩越線ト水戸線トノ
連絡上必要ナリト認ムルニ依リ政府ハ速ニ本線ノ建設ニ著手スヘシ
右建議ス

(根本正君登壇)

○根本正君 鐵道建設ニ關スル建議案デアリマスガ、本鐵道ハ茨城縣水戸ヨリ福島
縣白河及郡山附近ニ達スルコトヲ鐵道ノ建議デアリマシテ、第二十七議會及第二十
八議會ニ於キマシテモ滿場一致ヲ以テ通過シタ問題デアリマス、爾來政府ハ明治四十四年
ニ於キマシテ、此地方ノ測量モ出來マシタケレドモ、マダ今日著手ヲ致シマセヌカラシテ速ニ
著手セラレムコトヲ望ムノデアリマス、此方面ハ最モ農産或ハ山林礦物ニ富シテ、殊ニ此地
方ニ水戸市ヨリ勝倉、爪連、山方、大宮町ト云フコトヲ大ナル煙草ノ生産地デアリマス、
又大子町ト云フ處モ非常ニ大ナル煙草ノ生産地デアリ、又森林モ澤山アル、莧藷或ハ
煙草紙ナドモ澤山アル處デアリマス、殊ニ此棚倉町ノ如キハ一日二百五十車ヅモ東
京ニ薪炭其他ノ荷物ヲ運搬致シマス、然ルニ此棚倉及東館地方ヨリ東京ニ出マス荷
物ハ、特ニ白河マデ持ツテ行カナケレバナラヌト云フコトデス、是ハ南ニ出ル荷物ヲ一度
北ニ持ツテ行キ、十里アリマスカラ二十哩ノ處ヲ持ツテ行キ、又南ニ二十哩持ツテ來マスカ
ラ、一日五十車二百車ノ荷物ヲ日々四十哩ヅモ餘計ノ時間ヲ費スト云フコトデアリ
マス、ツレデ此鐵道ハ最モ國力發展ニ付テ大關係ノアルモノデアリマシテ、政府ハ既ニ測
量モ濟シテ居リマスカラ、速ニ起工セラレンコトヲ望ムト云フ建議デアリマス、ドウカ御贊
成アラントラ望ミマス

○松田源治君 本案ハ日程第十三ノ鐵道速成ニ關スル建議案ト、同一委員ニ付託
セラレンコトヲ望ミマス

(贊成々々ヲ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 松田源治君ノ動議ニ御異議ガナイト認メマスカラ、本案ハ日
程第十三ノ案ヲ付託シタル委員ニ付託スルコトニ決シマス

日程第十八、國防上農村振興ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、田中善立君

第十八 國防上農村振興ニ關スル建議案(中川虎之助君
外三名提出)

國防上農村振興ニ關スル建議案

強健ナル體格ヲ有スル農民ノ子弟ハ軍隊精銳ノ中堅ナリ然ルニ農業ハ薄利ニシテ重
稅ノ負擔ニ堪ヘス壯丁ハ犁鋤ヲ棄テ都會ニ移ルノ傾向ヲ生シ農村ハ漸次衰退シテ
萎靡振ハサルノ狀態ニ在リ如何ニ精銳ノ武器アリト雖兵士羸弱ナルニ於テハ何ノ用
ヲカ爲サムヤ農村ノ盛衰ハ國防ノ安危ニ關スルコトハ爭フヘカラサルノ事實ナリ今ニシ
テ之カ方法ヲ講セサレハ國家百年ノ大計ヲ誤ルニ至ルヘシ故ニ政府ハ農村振興ノ方

針ヲ以テ重税ノ負擔ヲ輕減シ安ムシテ農業ニ從事シ得ヘキ程度ノモノト爲ササルヘカ
ラス依テ先ツ農村ノ小學教育費ヲ國庫支辨ニ移シ中農以下ノ地租ヲ一層輕減ス
ヘキ案ヲ具シテ速ニ議會ニ提出セムコトヲ望ム
右建議ス

(田中善立君登壇)

○田中善立君 本員ハ提出者ノ一人トシテ辯明致シマス、本案ハ極メテ重大ナル問題
ニ屬シマスカラ、誠心誠意國事ヲ憂フル諸君ニ於テハ既ニツレ、御攻究ニナッテ居
ルコト、信ヲマスルカラシテ、簡單ニ其理由ノ存スル所ヲ申述ベマス、今日列國競爭ノ
激甚ナル際ニ當リマシテ、國務ノ忽ニスベカラザルコトハ申スマデモゴザイマセヌガ、是ト相
俟テ最モ重要ナルハ農村ノ振興ニ在リマス、即チ陸海軍ノ中殊ニ陸軍ノ主力ト爲タルベキ
重要ナル兵卒及下士ト云フモノハ、農村ノ壯丁ヨリ其大部分ハ組織セラレテ居ルノデア
リマス、故ニ農村ノ壯丁ニシテ若シ不堅實デアリマスルナラバ、直ニ軍隊ニ其惡影響ヲ
及スノデアリマス、軍隊ヲシテ強健ナラシメントスルニ付テハ、ドウシテモ農村ト云フモノヲ
裕ニシテ、其農村ノ壯丁ヲ堅實ナラシメナケレバナラヌノデアリマス、之ヲ開ク西南ノ役ニ
ハ敵味方共ニ其勇敢ナル世界無比デアッタ、所ガ日清戰役ニ於テハ稍劣ッテ居ル、日
露戰争ニ於テハ遙カニ劣ッテ漸ク露兵ト伯仲ノ間ニアッタト云フコトデアリマス、果シテ
然ラバ吾人ノ論據ヲ強クスルモノデアリマス、即チ明治十年當時ニ於テハ農村ハ未ダ裕
デアリマシテ、其壯丁ハ忠實業ニ服シ、身心共ニ堅實デアリマシタカラシテ、一度軍隊ノ
教育ヲ受クレバ戰争ニ臨ンデ此ノ如ク世界無比ノ勇敢ナル行動ヲナスコトガ出來タノデ
アリマス、然ルニ其後段々ト税ガ重クナリ農村ガ疲弊ヲ致シマシテ、有利ナル都會生活ヲ
羨望シテ之ニ轉ズルト云フヤウニナリ、又殘ッテ居ルモノモ段々ト身心不堅實ニナッテ參リ
マシタカラ、更ニ二十年當時ニ比シテ進歩セル軍隊ノ教育ヲ受ケテモ、實戰ニ臨ンデ尙劣リ
ノデアリマス、尙ホ下ッテ重税ガ益烈シクナリ農村ノ疲弊ガ益烈シクナリマシタカラ、
都會ニ移住スル者ガ愈々増加シテ殘レル者モ段々ト不堅實ナル狀態ニナリマシタ、以上ハ
縱令立派ナル教育ヲ受ケテモ實戰ニ臨ンデ劣ラザルヲ得ナイノデアリマス、故ニ國防
ヲシテ充實セシメントスルナラバ、ドウシテモ農村ト云フコトガ最モ必要ト私ハ信ジマス、
ハナラヌノデアリマス、ドウシテモ此農村ヲ救済スルコト云フコトガ最モ必要ト私ハ信ジマス、
因ッテ此農村ノ救済法ニ付テハイロ／＼ゴザイマセウケレドモ、目下焦眉ノ急トスルトコ
ロハ中農以下ノ租稅ヲ特ニ減ズル、ソレカラ農村ノ教育費ヲ國庫支辨ニスルト云フガ如
キハ、最モ焦眉ノ急デアラウト私ハ信ズルノデアリマス、(目下ノ財政テ出來ルカト呼
者アリ)若シ是ガ出來ヌナラバ國防ノ費用ノ幾分ヲ割イテモ、之ヲ救済セシメケレバナラヌト
思フノデアル、尙ホ一言(モウ宜カラウ委員會テ述ベシ)ト呼フ者アリ)モウ長クハ申シ
マセヌ、試ニ今日農民ノ一日ノ勞働賃銀ハ幾ラデアルカト申シマス、一石十七圓臺
ト致シマシテ一日ノ勞銀ガ僅カ二十四錢一厘ニシカナラヌノデアリマス、僅カ二十四錢
一厘ノ報酬ヲ得テ、我々汲々トシテ働イテ居ルノデアリマス、尙他ニ申上ゲタイコトモアリ
マスガ、餘リ時刻モ移リマシタカラ此位ニシテ置キマス、ドウカハ重要ナル問題デアリマス
カラ御協賛ヲ望ミマス

○松田源治君 此案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 別ニ異議ガナイヤデアリマスカラ、本案ハ議長指名九名ノ委
員ニ付託スルコトニ決シマシタ、日程第十九、國民ノ政治的智德涵養ニ關スル建議
案、提出者村松龜一郎君

(「居リマセヌ」ト呼フ者アリ)
○議長(大岡育造君) 出席ガナイヤデアリマスカラ次ノ日程ニ移リマス、日程第二
十、高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、根本正君

第二十 外一名提出) 高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案(根本正君

高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案

我カ國中央氣象臺及地方測候所ヨリ發スル天氣豫報及暴風警報ハ地上ニ存ス
ル各地ノ氣象觀測ニ依テ之ヲ豫知スルニアルモ近年ノ研究ニ依レハ高低氣壓ハ大
氣ノ高層ニ其ノ動源ヲ有スルモノニシテ其ノ進行及盛衰ハ高層ノ溫度濕度等ニ依リ
テ定マルモノナルコトハ疑ナシ故ニ單ニ地上ノ觀測ノミニ依賴セズ高層ノ氣象ヲ觀測
スルヲ得ハ暴風雨ノ發生モ其ノ以前ニ於テ之カ兆候ヲ認メ得ヘク從テ豫報警報ノ
機ヲ逸シ又ハ的中ヲ誤ルカ如キコト少キニ至ルヘシ依リテ政府ハ速ニ高層氣象觀測
所ヲ設置セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○根本正君 簡單デアリマスカラ是ヨリ申シマス

○議長(大岡育造君) 自席ニテ説明ヲ許シマス、其處デ宜シウゴザイマス
○根本正君 高層氣象觀測ニ關スル建議案ハ、既ニ第二十七議會ハ議會、其前ノ二
十六議會ニモ出テ通過シタ問題デアリマス、我日本帝國ハ四面海ヲ以テ環ラシテ居ル
國デアリマス、夫故ニ漁業ニ重キヲ置イテ、既ニ遠洋漁業ニ對シテハ農商務省ヨリ補助
金モ與ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ近年大風雨ノタメニ船ノ破損スルコトガ幾百ト云
フコトニナッテ居リマス、又其損害モ數十萬圓ニ上ッテ居ルノデアリマス、其難破船ヲ救フ
ニハ高層氣象觀測ト云フコトヲ、即チ空中氣球ヲ上ゲ或ハ(「簡單」ト呼フ者アリ)紙
鳶ヲ揚ゲテ其氣象ヲ觀測シマスルナラバ、四十時間先キノ觀測ガ行居クノデアリマス
(「贊成」ト呼フ者アリ)故ニ歐羅巴ニ於キマシテハ既ニ二十箇年——獨逸ノ如キハ二
十四箇年前ヨリ此事ニ付テ大ニ觀測ヲサレテ、今日ハ十七箇所モアリマス、斯ノ如ク此
文明國ニ於キマシテハ此タメニハ充分ナル設計ガアリマスケレドモ、我日本帝國ニ於キマ
シテハ唯漁業ニ補助スルハカリデ其本ヲ防グトコロノ高層氣象觀測ト云フヤウナコトニ
付テハ未ダ充分デアナイノミナラズ、更ニ設備ガナイ(「登壇」ト呼フ者アリ)政府モ既ニ全
然御同意デアルト云フコトデスカラ、速ニ可決アラシコトヲ希望致シマス

○松田源治君 本案ニ付テ政府ノ意見ハドウデゴザイマス

(政府委員福原鍊二郎君登壇)

(「簡單」ト呼フ者アリ)笑聲起ル

○政府委員(福原鍊二郎君) 本案ニ付キマシテハ政府ハ格別異議ハゴザイマセヌ、勿
論御同意デアゴザイマスガ、唯經費ノ關係ガゴザイマスカラ、ドノ年度カラ施行ヲ致スト云
フ確カナ見込ヲ御答ヲ致スコトハ出來マセヌ

○松田源治君 本案ハ數回衆議院ヲ通過シタル建議案デアリ、且政府モ同意シテ異
議ナイト云フコトデアゴザイマスカラ、直ニ可決セラレンコトヲ望ミマス

(「贊成」又ハ「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 直ニ可決スルコトニ御異議ナイト認メマス

(「贊成」ト呼ビ又ハ「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガゴザイマセヌカラ本案ハ可決致シマシタ——日程第

(11風)